

目次

- ★ 発生動向総覧 P 1～4
- ★ 感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況 P 4
- ★ 指定届出機関からの特記事項欄コメント P 4～5
- ★ 全数把握感染症集計表 P 6
- ★ 定点把握感染症集計表 P 7～11
- ★ 定点把握感染症推移グラフ P 12～16
- ★ 定点把握感染症集計表（月報） P 17～20
- ★ 定点把握感染症推移グラフ（月報） P 21～22
- ★ 今シーズンのインフルエンザの流行状況 P 23～25
- ★ マダニに咬まれないように注意しましょう（SFTSの発生） P 26～27
- ★ 新型コロナウイルス感染症の状況 P 28～



発生動向総覧

◆全数届出の感染症

- 1 類感染症 報告なし
- 2 類感染症 結核（熱海（1）、中部（1）、西部（1）、浜松市（1））
- 3 類感染症 報告なし
- 4 類感染症 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)（熱海（1））、日本紅斑熱（熱海（1））、レジオネラ症（富士（2））
- 5 類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症（浜松市（1））、後天性免疫不全症候群（浜松市（1））、梅毒（熱海（1）、富士（2）、西部（1）、浜松市（1））

◆定点把握の対象となる5類感染症（週報対象のもの）

環境衛生科学研究所
感染症情報センター

感染症発生動向調査

令和5年第29週(7/17～7/23)の動向

警報・注意報・流行期入りの目安

警報・注意報のねらいは、感染症発生動向調査における定点把握感染症のうち、公衆衛生上その流行現象の早期把握が必要な疾病について、流行の原因究明や拡大阻止対策などを講ずるための資料として、都道府県衛生主幹部局や保健所など第一線の衛生行政機関の専門家に向け、データの何らかの流行現象がみられることを、一定の科学的根拠に基づいて迅速に注意喚起することにあります。ほとんどの感染症では、時間の経過とともに流行が地域的に拡大あるいは移動していくことから、流行拡大を早期に探知するためには、小区域での流行状況を広域的に監視することが重要と考えられます。

「警報レベル」は、大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを示します。

「注意報レベル」は、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

「警報レベル」は、1週間の定点当たり報告数がある基準値（開始基準値）以上で開始し、別の基準値（終息基準値）未満で終息します。

「注意報レベル」は1週間の定点当たり報告数がある基準値以上の場合です。警報・注意報レベルの基準値は、これまでの感染症発生動向調査データから、下記の通り定められています。

インフルエンザには、「流行期入りの目安」として、「1」があります。

1週間の定点医療機関あたり報告数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられます。ただし、あくまでも目安であり、1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

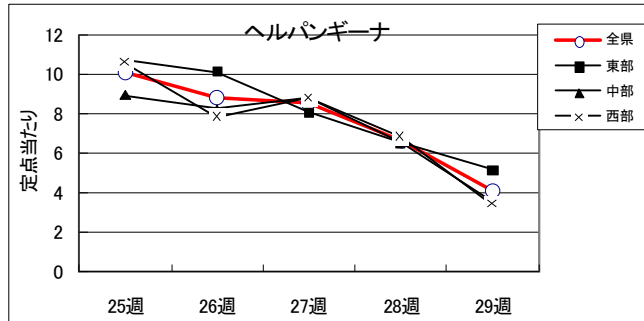
疾病	警報レベル		注意報レベル 基準値
	開始基準値	終息基準値	
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—
感染性胃腸炎	20.0	12.0	—
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	—
伝染性紅斑	2.0	1.0	—
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

【今週のコメント】

ヘルパンギーナは、全県で罹患数362、定点当たり4.07の患者発生があり、前週の6.62から減少し、**流行の警報レベルの開始基準値の6を切りました。**

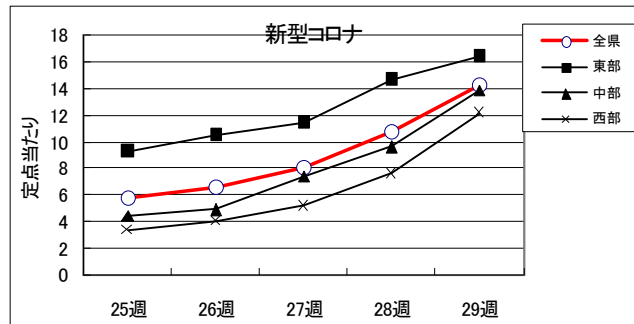
【ヘルパンギーナ】

全県で罹患数362、定点当たり4.07の患者発生があり、前週の6.62から減少した。定点当たり東部地区で5.16、中部地区で3.56、西部地区で3.37の患者が発生した。



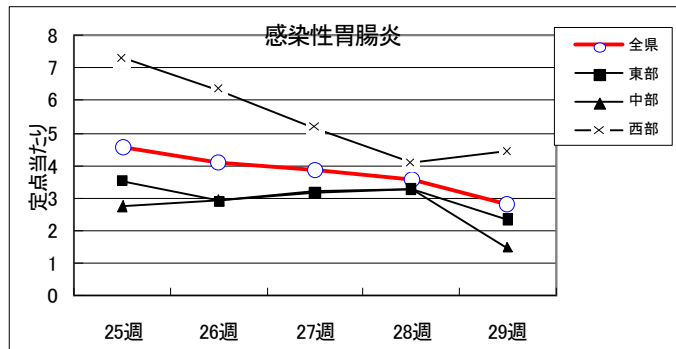
【新型コロナ】

全県で罹患数1,973、定点当たり14.19の患者発生があり、前週の10.77から増加した。定点当たりは、東部地区で16.44、中部地区で13.83、西部地区で12.13の発生があった。



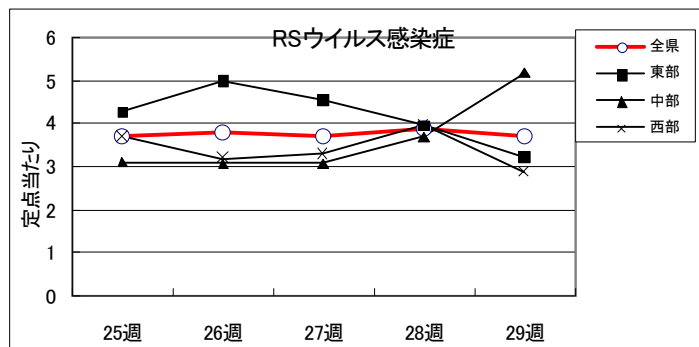
【感染性胃腸炎】

全県で罹患数248、定点当たり2.79の患者発生があり、前週の3.55から減少した。定点当たり東部地区で2.34、中部地区で1.48、西部地区で4.43の患者が発生した。



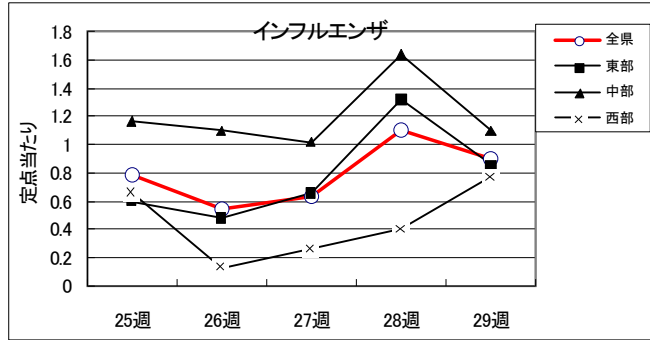
【RSウイルス感染症】

全県で罹患数329、定点当たり3.7の患者発生があり、前週の3.89から減少した。定点当たり東部地区で3.22、中部地区で5.19、西部地区で2.87の患者が発生した。



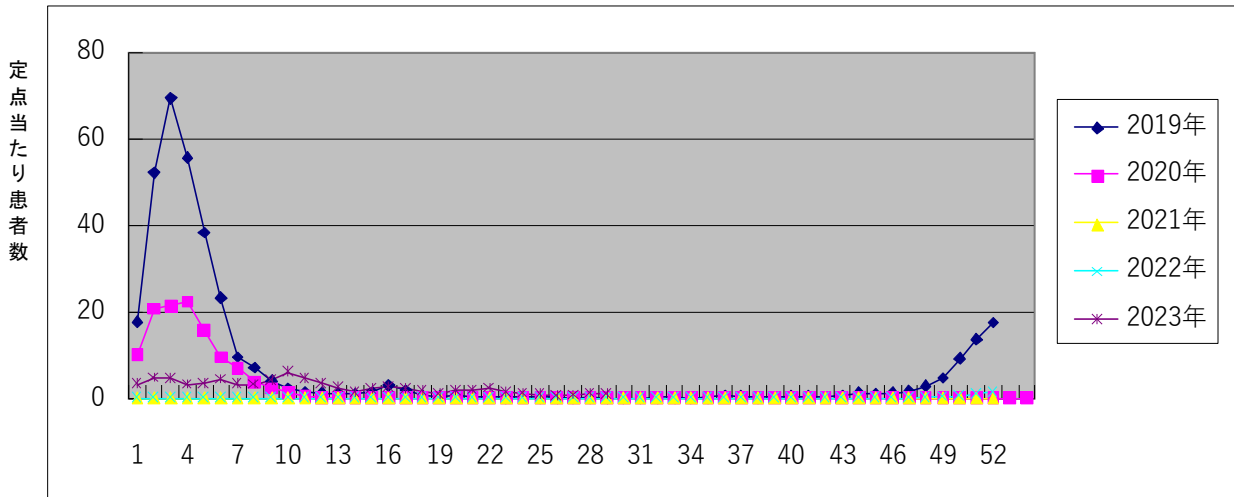
【インフルエンザ】

全県で罹患数125、定点当たり0.9の患者発生があり、前週の1.11から減少した。定点あたりは、東部地区で0.86、中部地区で1.1、西部地区で0.77の発生があった。



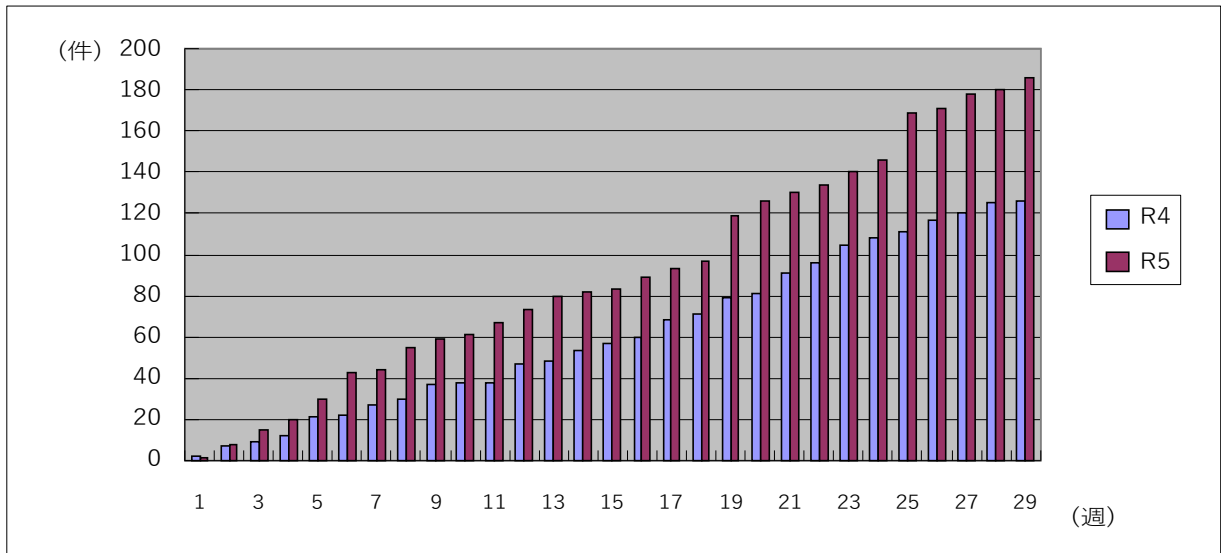
- ・麻疹、風疹は患者発生なし。
- ・全国のインフルエンザの発生は1.59で前週の1.76から減少した。警報及び注意報レベルの保健所を有する都道府県は9で変更なしであった。
- ・静岡県において第29週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に1)新型コロナ (14.19)、2)ヘルパンギーナ (4.07)、3)RSウイルス感染症 (3.7)、4)感染性胃腸炎(2.79)、5)インフルエンザ(0.9)、6)手足口病(0.8)であった。

【インフルエンザ罹患数推移】



【梅毒の発生状況(静岡県・累計)】

- ・第29週は前年同期比1.48倍の増加となった。



◆感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況

警報 ヘルパンギーナ（東部、御殿場、富士、中部、西部、浜松市）
注意報 なし



指定届出機関からの特記事項欄コメント

感染症第29週（令和5年7月17日～令和5年7月23日）

高野医院（伊東市）「新型コロナ 24名」

よざ小児科医院（沼津市）「新型コロナ 3名、インフルエンザA型 2名」

光ヶ丘小児科（三島市）「新型コロナ 31名、腸管アデノ 1名、RS 7名、インフルエンザA型 5名、ヒトメタニューモ 16名、咽頭アデノ 2名」

函南平出クリニック（函南町）「新型コロナ 21名、インフルエンザA型 1名、ヒトメタニューモ 5名、RS 5名、ヘルパンギーナ 9名、溶連菌 1名」

クボタ小児科（三島市）「インフルエンザA型 3名」

白十字小児科医院（沼津市）「インフルエンザA型 1名」

たうち小児科医院（御殿場市）「インフルエンザA型 2名、新型コロナ 46名、ヒトメタニューモ 54名」

小川小児科内科医院（富士市）「インフルエンザA型 9名、新型コロナ 66名」

木村内科医院（富士市）「新型コロナ 3名」

共立蒲原総合病院・内科（富士市）「新型コロナ 27名」

共立蒲原総合病院・小児科（富士市）「新型コロナ 2名」

幸治小児科医院（富士市）「インフルエンザ 1名、新型コロナ 7名」

聖隷富士病院（富士市）「新型コロナ 19名」

瀬尾小児科内科医院（富士市）「新型コロナ 37名」

田子浦クリニック（富士市）「インフルエンザ 10名、新型コロナ 36名」

谷口小児科医院（富士宮市）「新型コロナ 5名」

永松医院（富士市）「新型コロナ 4名」

南陽堂内科循環器科クリニック（富士宮市）「新型コロナ 8名」

平野医院（富士市）「新型コロナ 5名」

富士市立中央病院（富士市）「インフルエンザ 2名、新型コロナ 16名」

富士宮市立病院（富士宮市）「新型コロナ 4名」

三浦医院（富士宮市）「インフルエンザ 2名、新型コロナ 15名」

クリニックパパ（浜松市）「ヒトメタニューモ 7名、咽頭アデノ 1名、インフルエンザA型 2名」

天竜こども医院（浜松市）「咽頭アデノ 1名」

おおば小児科（浜松市）「インフルエンザA型 7名」

※特記事項欄コメントによるインフルエンザウイルス型別状況（R4-R5 シーズン累計）

区分	報告数	割合
インフルエンザA型	4,091名	98%
インフルエンザB型	98名	2%

静岡県の感染症週報はホームページでも御覧いただけます。

（「静岡県 感染症情報センター」で検索）

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1003065/index.html>

疾患名	区分	静岡県							全国					
		24週	25週	26週	27週	28週	今週	年累計	26週	27週	28週	今週	年累計	
エボラ出血熱														
クリミア・コンゴ出血熱														
痘そう														
南米出血熱														
ペスト														
マールブルグ病														
ラッサ熱														
急性灰白髄炎														
結核		3	5	6	9	7	4	181	252	212	212	221	7,523	
ジフテリア														
重症急性呼吸器症候群(SARS)														
中東呼吸器症候群(MERS)														
鳥インフルエンザH5N1														
鳥インフルエンザH7N9														
コレラ													1	
細菌性赤痢									2	1	3	2	23	
腸管出血性大腸菌感染症		1	1	6	1	2		19	139	132	113	100	1,475	
腸チフス										1		1	23	
パラチフス													6	
E型肝炎						1		2	10	12	14	7	343	
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)														
A型肝炎									3		1	2	32	
エキノコックス症									1			1	8	
エムボックス								1	2	1	2	1	184	
賞熱														
オウム病										1		1	7	
オムスク出血熱														
回帰熱									2				10	
キャサスル森林病														
Q熱														
狂犬病														
コクシジオイデス症													1	
ジカウイルス感染症														
重症熱性血小板減少症候群							1	3	5		4	6	94	
腎症候性出血熱														
西部ウマ脳炎														
ダニ媒介脳炎														
炭疽														
テクングニア熱									1				2	
つつが虫病									3		1		106	
デング熱									1	4	3	5	47	
東部ウマ脳炎														
鳥インフルエンザ														
ニパウイルス感染症														
日本紅斑熱			2				1	3	7	12	6	11	178	
日本脳炎														
ハンタウイルス肺症候群														
Bウイルス病														
鼻疽														
ブルセラ症													1	
ベネズエラウマ脳炎														
ヘンドラウイルス感染症														
発しんチフス														
ポツリヌス症														
マラリア									1				8	
野兔病														
ライム病									2			3	10	
リッサウイルス感染症														
リフトバレー熱														
類鼻疽														
レジオネラ症		2		1			1	2	32	60	49	64	55	1,168
レプトスピラ症											2	3		8
ロッキー山紅斑熱														
アメーバ赤痢								11	5	4	3	8	271	
ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)									3	2	5	1	147	
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		1						13	24	21	19	21	980	
急性弛緩性麻痺									1	3	2		33	
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)					1			14	5	11	3	8	284	
クリプトスポリジウム症												1	5	
クロイツフェルト・ヤコブ病		1		1				4	2	1	1		79	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1					1	14	18	13	11	10	469	
後天性免疫不全症候群							1	6	11	10	14	10	535	
ジアルジア症								2			1	1	27	
優勢性インフルエンザ菌感染症						1		6	16	6	19	15	303	
優勢性髄膜炎菌感染症									1		1		10	
優勢性肺炎球菌感染症				1				18	13	18	12	25	1,016	
水痘(入院例に限る)						1		8	6	1	9	5	213	
先天性風しん症候群														
梅毒		5	8	1	5		5	186	205	200	179	179	8,349	
播種性クリプトコックス症								2	3	3	1	1	99	
破傷風			1					2	4	4	3	2	53	
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症														
バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1			1		9	1	1	1	2	78	
百日咳		2			1			6	13	21	26	27	508	
風しん									1				9	
麻疹		1		1				2	2	1			22	
薬剤耐性アシネトバクター感染症									1			1	10	
新型インフルエンザ等感染症														

※医療機関から届出の追加や取り下げがあった場合、増減することがあります。

※令和5年5月26日から「サル痘」は「エムボックス」に、「カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症」は「カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症」に名称が変わりました。

定点把握感染症集計表(届出数)

2023年 29 週

	静岡県							全国				
	24週	25週	26週	27週	28週	今週	計	26週	27週	28週	今週	計
RSウイルス感染症	253	332	336	328	346	329	1,924	9,981	10,613	9,882	8,124	38,600
咽頭結膜熱	37	32	35	20	35	19	178	1,783	1,628	1,728	1,596	6,735
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	75	68	57	71	62	52	385	5,032	4,809	4,520	3,567	17,928
感染性胃腸炎	510	406	359	342	316	248	2,181	14,608	12,984	12,195	9,697	49,484
水痘	10	5	10	4	5	6	40	325	373	309	345	1,352
手足口病	88	90	82	80	82	71	493	2,878	3,347	3,780	3,883	13,888
伝染性紅斑	2	6		8	6	6	28	82	57	67	68	274
突発性発しん	37	18	30	27	19	13	144	936	874	888	765	3,463
ヘルパンギーナ	788	901	773	760	589	362	4,173	20,360	22,980	21,443	14,789	79,572
流行性耳下腺炎	8	4	1	8	5	3	29	202	219	273	167	861
インフルエンザ	157	110	75	88	154	125	709	6,238	8,193	8,640	7,847	30,918
新型コロナウイルス感染症	773	808	915	1,128	1,497	1,973	7,094	35,737	45,108	54,150	68,601	203,596
急性出血性結膜炎								7	7	10	8	32
流行性角結膜炎	2	3	3	11	4	2	25	266	304	296	251	1,117
細菌性髄膜炎					1	1	1	4	4	6	9	25
無菌性髄膜炎	1	2			1		3	14	21	23	18	44
マイコプラズマ肺炎	2	3	1		1	1	8	23	12	12	9	56
クラミジア肺炎(オウム病は除く)								5		1	1	7
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)									1	4	1	6

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

定点把握感染症集計表(定点当り)

2023年 29 週

	静岡県						全国			
	第24週	第25週	第26週	第27週	第28週	今週	第26週	第27週	第28週	今週
RSウイルス感染症	2.84	3.73	3.78	3.69	3.89	3.70	3.17	3.38	3.16	2.59
咽頭結膜熱	0.42	0.36	0.39	0.22	0.39	0.21	0.57	0.52	0.55	0.51
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.84	0.76	0.64	0.80	0.70	0.58	1.60	1.53	1.45	1.14
感染性胃腸炎	5.73	4.56	4.03	3.84	3.55	2.79	4.65	4.13	3.90	3.09
水痘	0.11	0.06	0.11	0.04	0.06	0.07	0.10	0.12	0.10	0.11
手足口病	0.99	1.01	0.92	0.90	0.92	0.80	0.92	1.07	1.21	1.24
伝染性紅斑	0.02	0.07		0.09	0.07	0.07	0.03	0.02	0.02	0.02
突発性発しん	0.42	0.20	0.34	0.30	0.21	0.15	0.30	0.28	0.28	0.24
ヘルパンギーナ	8.85	10.12	8.69	8.54	6.62	4.07	6.48	7.32	6.86	4.71
流行性耳下腺炎	0.09	0.04	0.01	0.09	0.06	0.03	0.06	0.07	0.09	0.05
インフルエンザ	1.13	0.79	0.54	0.63	1.11	0.90	1.26	1.66	1.76	1.59
新型コロナウイルス感染症	5.56	5.81	6.58	8.12	10.77	14.19	7.24	9.14	11.04	13.91
急性出血性結膜炎							0.01	0.01	0.01	0.01
流行性角結膜炎	0.09	0.14	0.14	0.50	0.18	0.09	0.38	0.44	0.43	0.36
細菌性髄膜炎					0.10	0.10	0.01	0.01	0.01	0.02
無菌性髄膜炎	0.10	0.20			0.10		0.03	0.04	0.05	0.04
マイコプラズマ肺炎	0.20	0.30	0.10		0.10	0.10	0.05	0.03	0.03	0.02
クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0.01		0.00	0.00
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)								0.00	0.01	0.00

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

感染症 29 週

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	329	3.70	19	0.21	52	0.58	248	2.79	6	0.07
賀茂	3	1.50			1	0.50	5	2.50		
熱海	3	0.75	1	0.25			4	1.00		
東部	38	2.92	3	0.23	2	0.15	42	3.23		
御殿場	18	4.50	1	0.25	15	3.75	4	1.00		
富士	41	4.56	2	0.22	3	0.33	20	2.22		
静岡市	119	7.44	9	0.56	10	0.63	22	1.38		
中部	21	1.91			10	0.91	18	1.64	4	0.36
西部	54	4.50	2	0.17	5	0.42	51	4.25		
浜松市	32	1.78	1	0.06	6	0.33	82	4.56	2	0.11

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	定点当り	罹患数	定点当り
総数	71	0.80	6	0.07	13	0.15	362	4.07	3	0.03
賀茂	11	5.50			2	1.00	2	1.00		
熱海	1	0.25			1	0.25	12	3.00	1	0.25
東部	2	0.15	1	0.08			46	3.54		
御殿場					1	0.25	15	3.75	1	0.25
富士	4	0.44					90	10.00		
静岡市	1	0.06			1	0.06	30	1.88		
中部	17	1.55					66	6.00		
西部	9	0.75	3	0.25	3	0.25	53	4.42		
浜松市	26	1.44	2	0.11	5	0.28	48	2.67	1	0.06

保健所名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症		麻しん (全数報告)		風しん (全数報告)		指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	累計	週計	累計	小児科	内科
総数	125	0.90	1,973	14.19	0	2	0	0	89	50
賀茂			48	16.00					2	1
熱海			104	17.33					4	2
東部	15	0.75	232	11.60					13	7
御殿場	4	0.67	184	30.67					4	2
富士	24	1.60	254	16.93					9	6
静岡市	5	0.20	308	12.32					16	9
中部	41	2.41	273	16.06					11	6
西部	13	0.68	294	15.47		1			12	7
浜松市	23	0.82	276	9.86		1			18	10

*新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類(定点把握対象)に追加されました。

感染症 29 週

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		2	0.09	1	0.10	0		1	0.10
賀茂										
熱海									1	1.00
東部										
御殿場										
富士										
静岡市										
中部			1	0.33						
西部			1	0.25	1	1.00				
浜松市										

保健所名	クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		0	
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市				
中部				
西部				
浜松市				

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	10
	1
	1
4	1
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

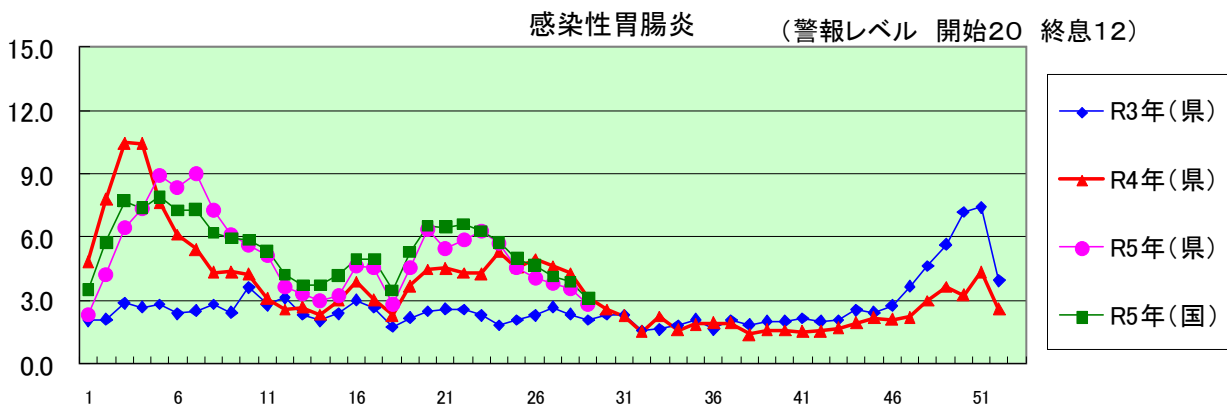
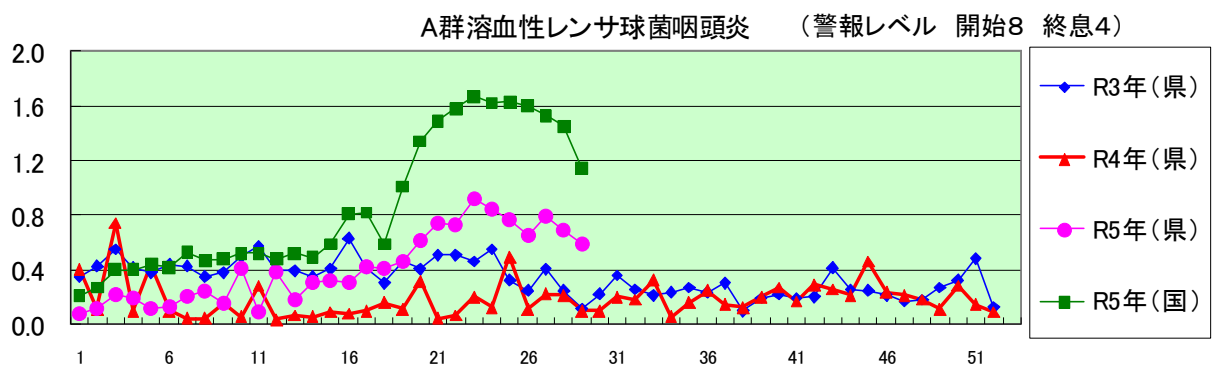
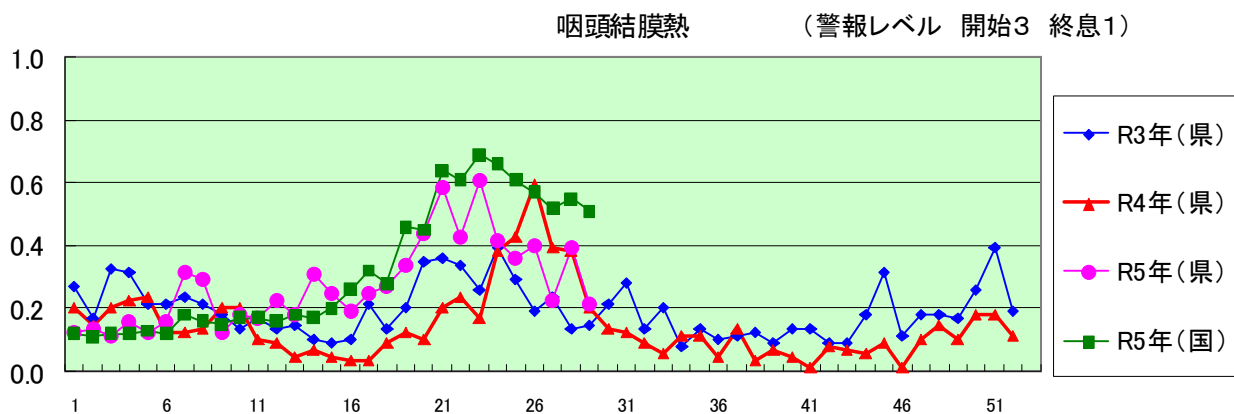
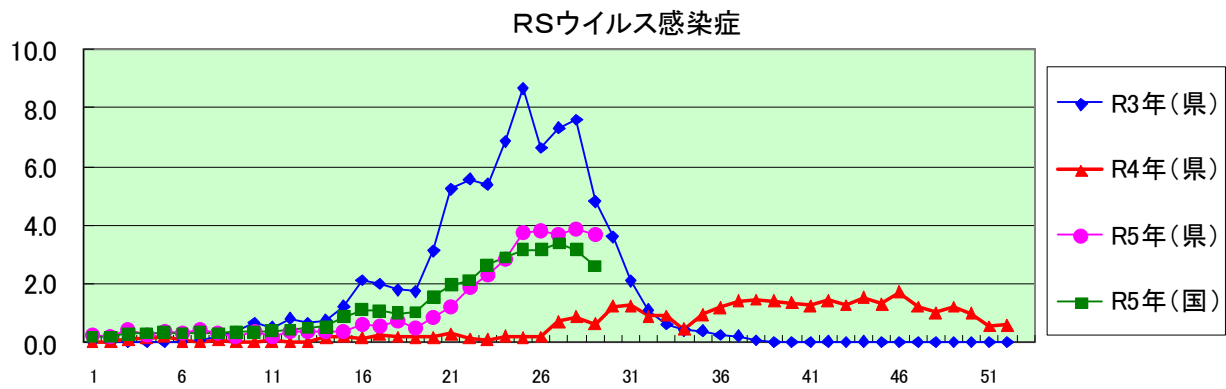
2023年 29 週

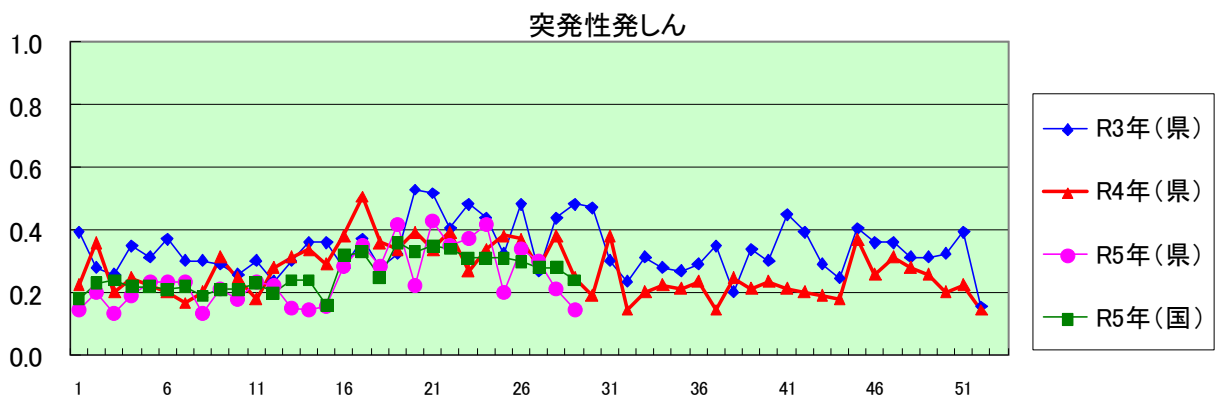
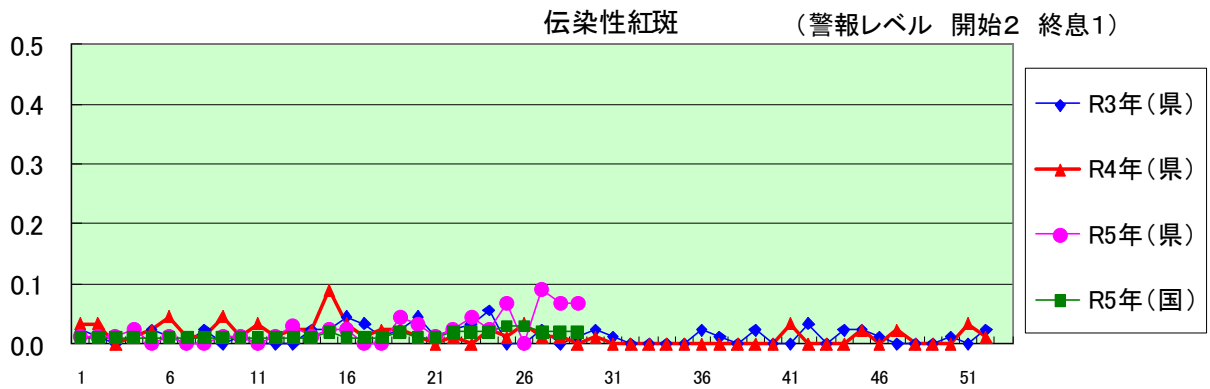
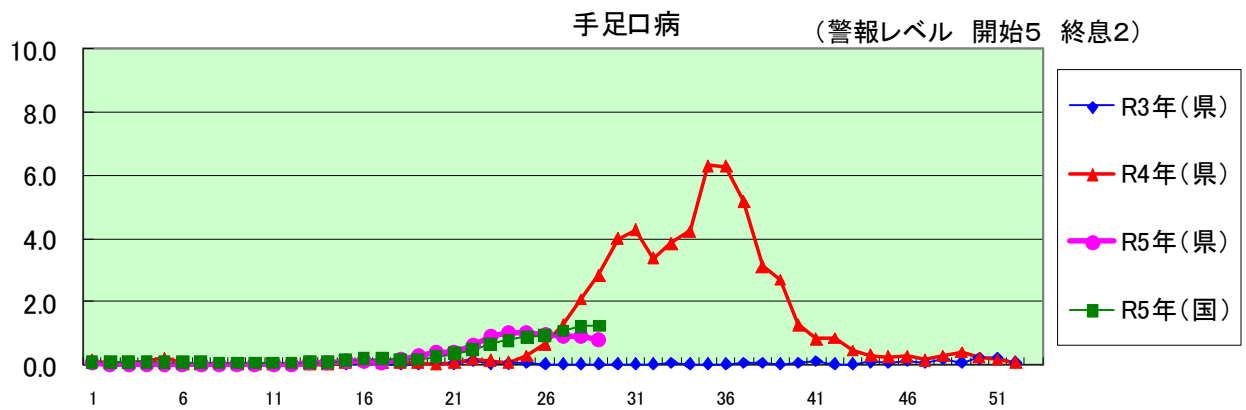
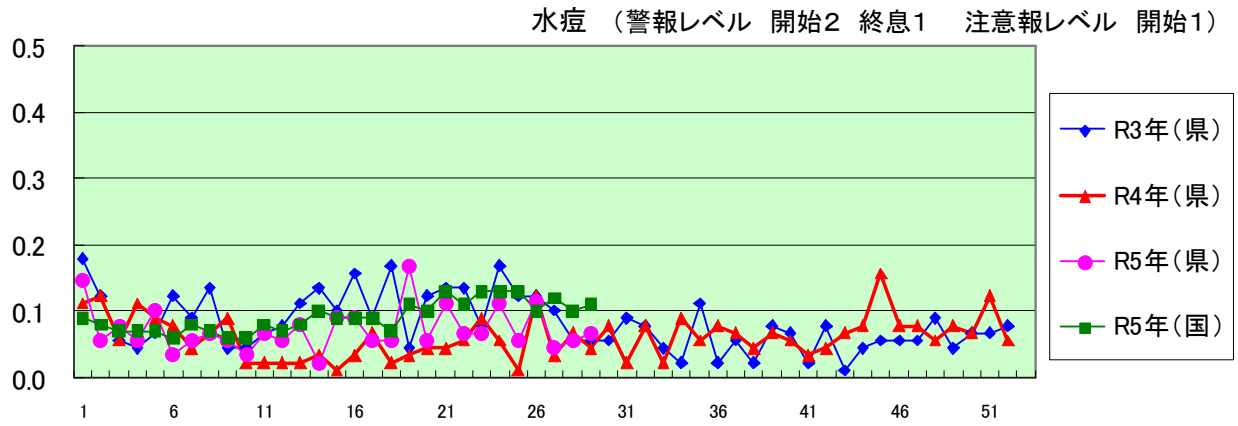
年齢階級区分	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
〃(小児科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							
〃(眼科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					
RSウイルス感染症	40	66	79	57	38	27	13	4	2	1		2									329
咽頭結膜炎		2	2	2	1	2	3	3	2	1		1									19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	2	3	8	3	3	7	6	4	3	1	2	2								52
感染性胃腸炎		16	46	35	28	24	24	16	21	13	11	12	1	1							248
水痘	1		1		1		1				1	1									6
手足口病	1	1	17	15	11	8	10	3	3	1		1									71
伝染性紅斑				1	2		1	2													6
突発性発しん			4	5	3		1														13
ヘルパンギーナ	3	14	75	73	52	44	48	18	12	3	6	11		3							362
流行性耳下腺炎										1	1	1									3
インフルエンザ		1	1	1	6	4	10	6	16	11	12	23	5	6	7	7	3	2	2	2	125
新型コロナウイルス感染症	15	30	37	31	25	19	23	19	36	28	47	239	142	188	212	251	234	142	136	119	1,973
急性出血性結膜炎																					
流行性角結膜炎															1	1					2
細菌性髄膜炎												1									1
無菌性髄膜炎																					
マイコプラズマ肺炎				1																	1
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					

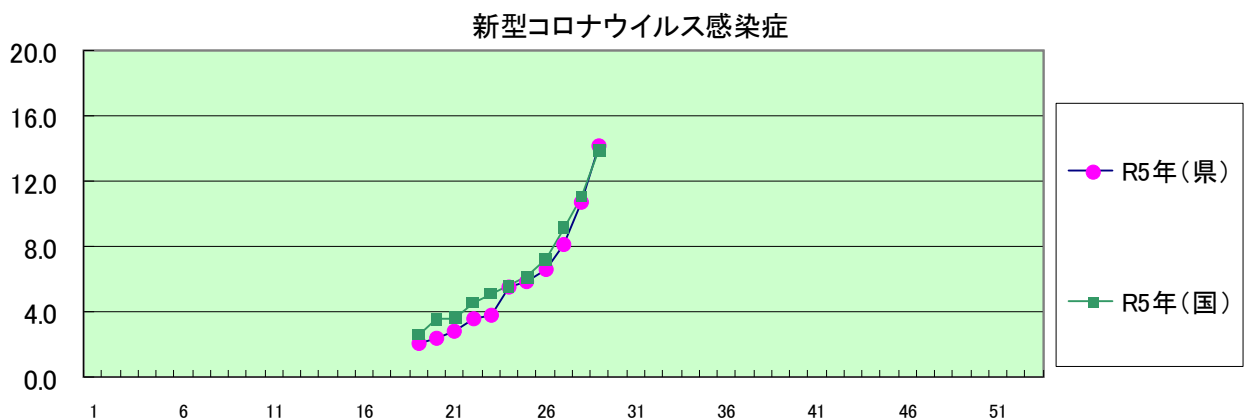
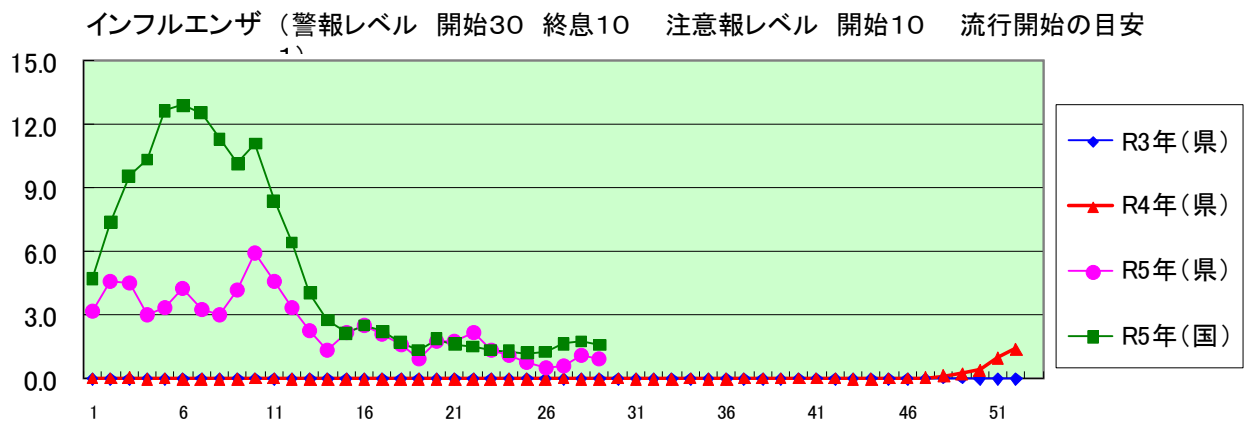
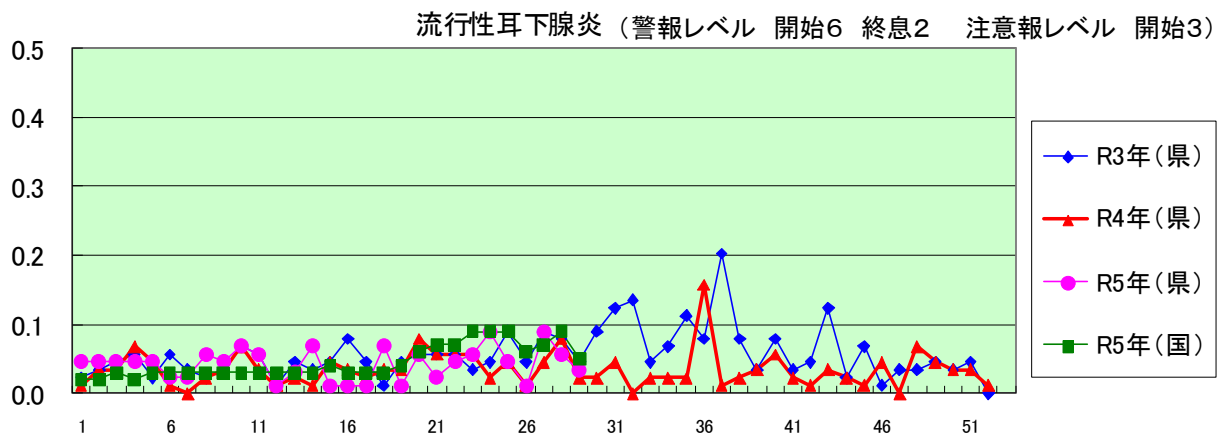
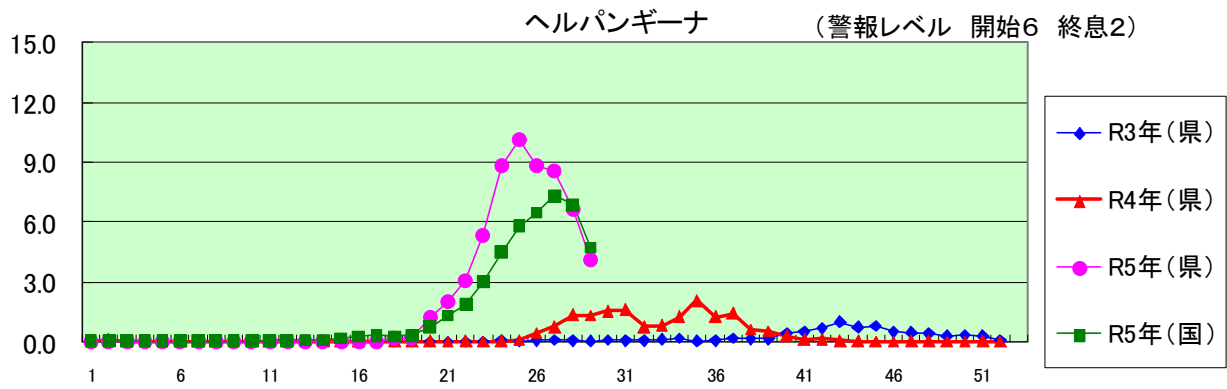
定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

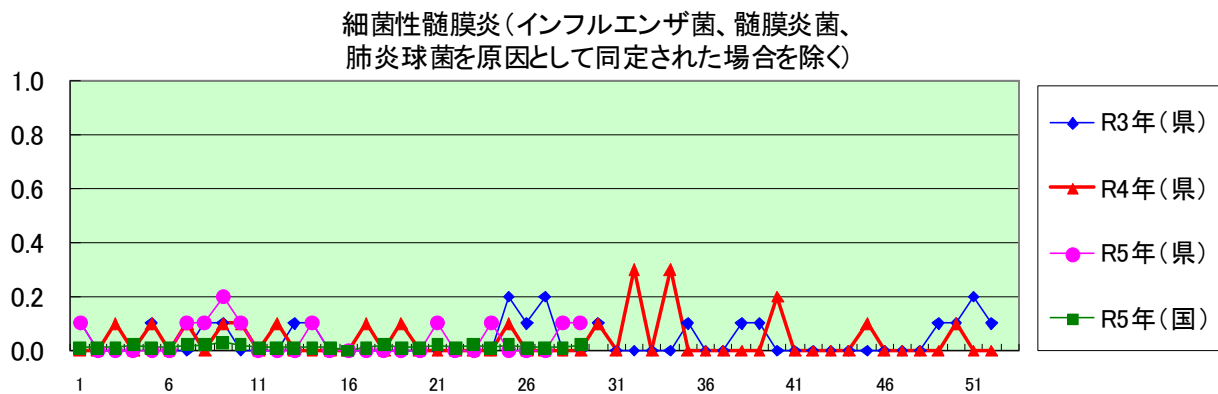
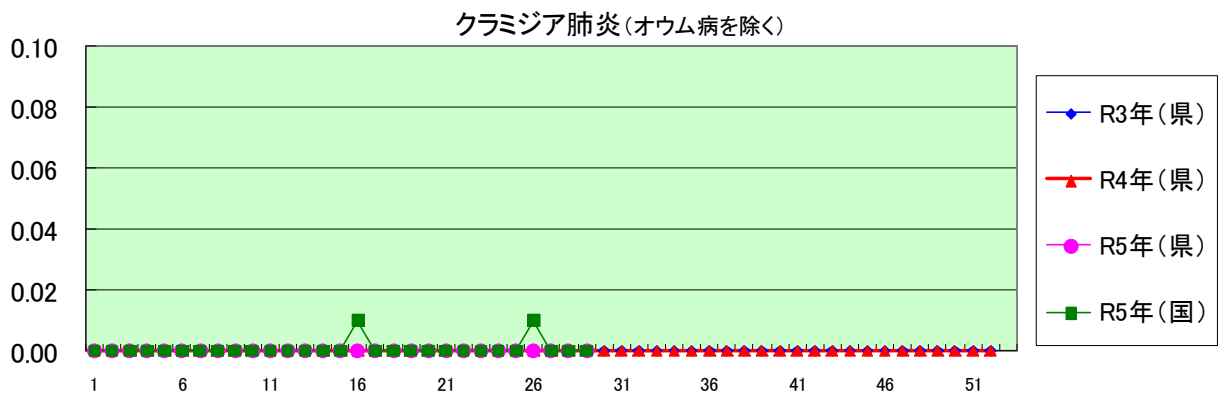
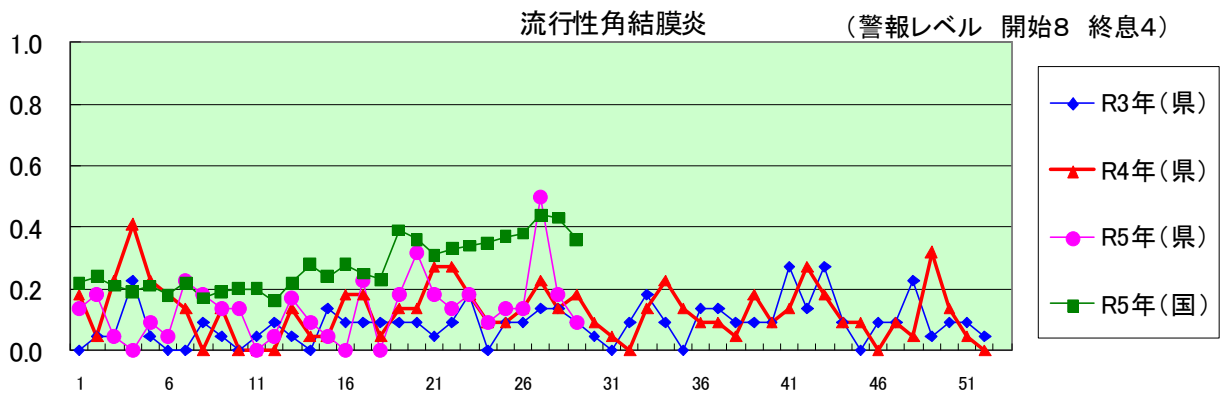
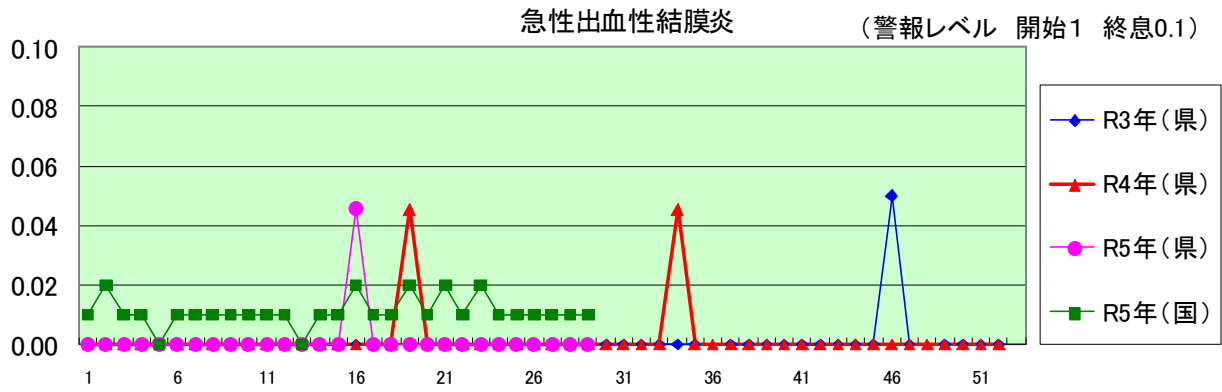
2023年 29 週

年齢階級区分	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
〃(小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							
〃(眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					
RSウイルス感染症	0.45	0.74	0.89	0.64	0.43	0.30	0.15	0.04	0.02	0.01		0.02									3.70
咽頭結膜炎		0.02	0.02	0.02	0.01	0.02	0.03	0.03	0.02	0.01		0.01									0.21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.01	0.02	0.03	0.09	0.03	0.03	0.08	0.08	0.07	0.04	0.03	0.01	0.02	0.02							0.58
感染性胃腸炎		0.18	0.52	0.39	0.31	0.27	0.27	0.18	0.24	0.15	0.12	0.13	0.01	0.01							2.79
水痘	0.01		0.01		0.01		0.01				0.01	0.01									0.07
手足口病	0.01	0.01	0.19	0.17	0.12	0.09	0.11	0.03	0.03	0.01		0.01									0.80
伝染性紅斑				0.01	0.02		0.01	0.02													0.07
突発性発しん			0.04	0.06	0.03		0.01														0.15
ヘルパンギーナ	0.03	0.16	0.84	0.82	0.58	0.49	0.54	0.20	0.13	0.03	0.07	0.12		0.03							4.07
流行性耳下腺炎										0.01	0.01	0.01									0.03
インフルエンザ		0.01	0.01	0.01	0.04	0.03	0.07	0.04	0.12	0.08	0.09	0.17	0.04	0.04	0.05	0.05	0.02	0.01	0.01	0.01	0.90
新型コロナウイルス感染症	0.11	0.22	0.27	0.22	0.18	0.14	0.17	0.14	0.26	0.20	0.34	1.72	1.02	1.35	1.53	1.81	1.68	1.02	0.98	0.86	14.19
急性出血性結膜炎																					
流行性角結膜炎															0.05	0.05					0.09
細菌性髄膜炎												0.10									0.10
無菌性髄膜炎																					
マイコプラズマ肺炎				0.10																	0.10
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					

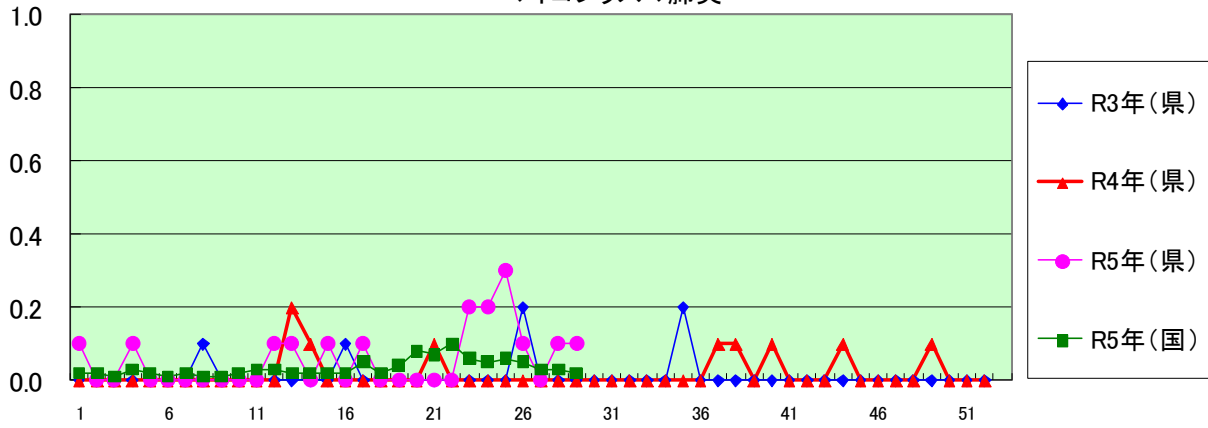




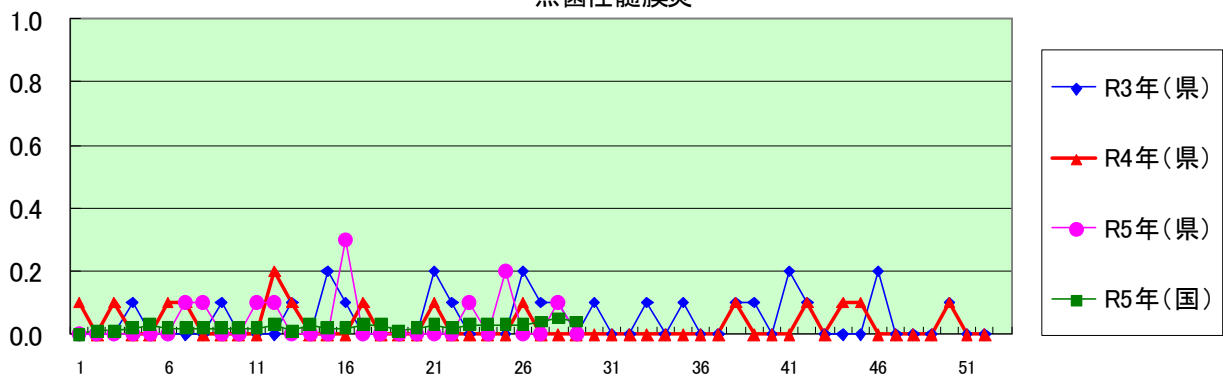




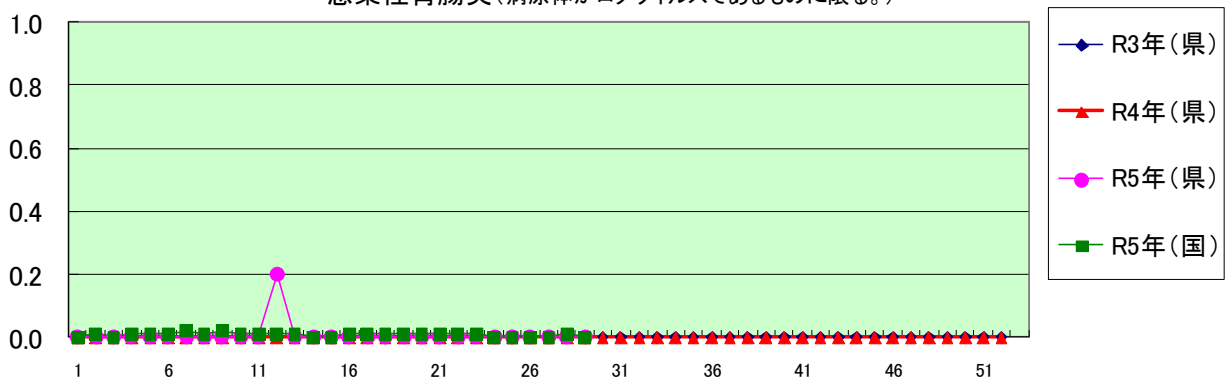
マイコプラズマ肺炎



無菌性髄膜炎



感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病を除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2023年 6 月

	静岡県							全国				
	1月	2月	3月	4月	5月	今月	計	3月	4月	5月	今月	計
性器クラミジア感染症	49	47	42	43	44	65	290	2,603	2,512	2,708	2,871	10,694
性器ヘルペスウイルス感染症	11	10	14	18	15	21	89	818	758	798	835	3,209
尖圭コンジローマ	10	12	12	20	12	6	72	577	562	610	610	2,359
淋菌感染症	18	11	20	8	13	25	95	857	773	831	775	3,236
性器クラミジア感染症(男)	16	19	12	13	13	25	98	1,330	1,302	1,410	1,408	5,450
性器クラミジア感染症(女)	33	28	30	30	31	40	192	1,273	1,210	1,298	1,463	5,244
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	4	1	2	7	5	9	28	315	293	317	325	1,250
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	7	9	12	11	10	12	61	503	465	481	510	1,959
尖圭コンジローマ(男)	6	9	1	8	3	1	28	372	379	410	403	1,564
尖圭コンジローマ(女)	4	3	11	12	9	5	44	205	183	200	207	795
淋菌感染症(男)	13	8	12	7	10	15	65	653	585	620	569	2,427
淋菌感染症(女)	5	3	8	1	3	10	30	204	188	211	206	809
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	13	18	18	25	25	23	122	1,207	1,012	1,210	1,213	4,642
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								61	57	116	95	329
薬剤耐性緑膿菌感染症								8	4	8	11	31

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2023年 6 月

	静岡県						全国			
	1月	2月	3月	4月	5月	今月	3月	4月	5月	今月
性器クラミジア感染症	1.63	1.57	1.40	1.43	1.47	2.17	2.66	2.57	2.76	2.91
性器ヘルペスウイルス感染症	0.37	0.33	0.47	0.60	0.50	0.70	0.84	0.78	0.81	0.85
尖圭コンジローマ	0.33	0.40	0.40	0.67	0.40	0.20	0.59	0.58	0.62	0.62
淋菌感染症	0.60	0.37	0.67	0.27	0.43	0.83	0.88	0.79	0.85	0.79
性器クラミジア感染症(男)	0.53	0.63	0.40	0.43	0.43	0.83	1.36	1.33	1.44	1.43
性器クラミジア感染症(女)	1.10	0.93	1.00	1.00	1.03	1.33	1.30	1.24	1.32	1.48
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.13	0.03	0.07	0.23	0.17	0.30	0.32	0.30	0.32	0.33
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.23	0.30	0.40	0.37	0.33	0.40	0.51	0.48	0.49	0.52
尖圭コンジローマ(男)	0.20	0.30	0.03	0.27	0.10	0.03	0.38	0.39	0.42	0.41
尖圭コンジローマ(女)	0.13	0.10	0.37	0.40	0.30	0.17	0.21	0.19	0.20	0.21
淋菌感染症(男)	0.43	0.27	0.40	0.37	0.33	0.50	0.67	0.60	0.63	0.58
淋菌感染症(女)	0.17	0.10	0.27	0.03	0.10	0.33	0.21	0.19	0.22	0.21
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.30	1.80	1.80	2.50	2.50	2.30	2.55	2.14	2.54	2.55
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							0.13	0.12	0.24	0.20
薬剤耐性緑膿菌感染症							0.02	0.01	0.02	0.02

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

2023年 6 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	65	2.17	21	0.70	6	0.20	25	0.83
賀茂								
熱海	3	3.00	3	3.00				
東部	8	1.60	1	0.20			1	0.20
御殿場								
富士	15	5.00	6	2.00			11	3.67
静岡市	14	2.33	5	0.83	5	0.83	6	1.00
中部	6	1.50	5	1.25			1	0.25
西部	15	3.00	1	0.20			3	0.60
浜松市	4	0.80			1	0.20	3	0.60

保健所名	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	23	2.30	0		0	
賀茂	3	3.00				
熱海	1	1.00				
東部						
御殿場						
富士	2	2.00				
静岡市	13	6.50				
中部	2	2.00				
西部	1	1.00				
浜松市	1	0.50				

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

* 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(届出数)

2023年 6 月

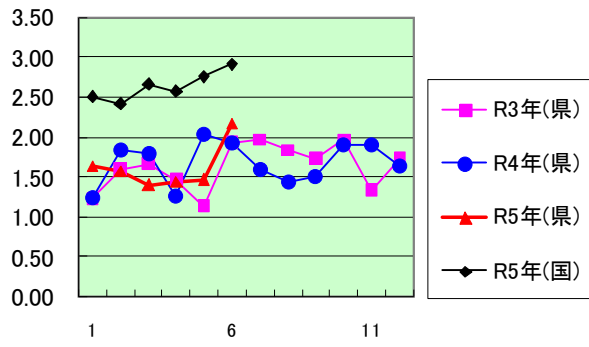
年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					3	16	19	6	5	6	8	1	1				65
性器ヘルペスウイルス感染症					1	3		8		4	1	1	1			2	21
尖圭コンジローマ						3		1			1	1					6
淋菌感染症					2	3	4	3	4	2	1	4		2			25
性器クラミジア感染症(男)						4	4	2	2	5	7		1				25
性器クラミジア感染症(女)					3	12	15	4	3	1	1	1					40
性器ヘルペスウイルス感染症(男)						1		3		3			1			1	9
性器ヘルペスウイルス感染症(女)					1	2		5		1	1	1				1	12
尖圭コンジローマ(男)											1						1
尖圭コンジローマ(女)						3		1				1					5
淋菌感染症(男)						1	1	2	3	2	1	3		2			15
淋菌感染症(女)					2	2	3	1	1			1					10
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症				1					1		1	2			1	17	23
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

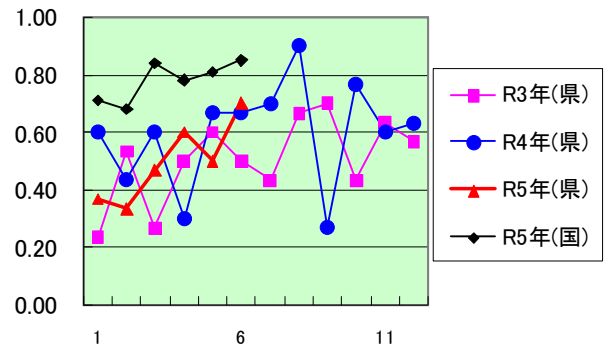
2023年 6 月

年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					0.10	0.53	0.63	0.20	0.17	0.20	0.27	0.03	0.03				2.17
性器ヘルペスウイルス感染症					0.03	0.10		0.27		0.13	0.03	0.03	0.03			0.07	0.70
尖圭コンジローマ						0.10		0.03			0.03	0.03					0.20
淋菌感染症					0.07	0.10	0.13	0.10	0.13	0.07	0.03	0.13		0.07			0.83
性器クラミジア感染症(男)						0.13	0.13	0.07	0.07	0.17	0.23		0.03				0.83
性器クラミジア感染症(女)					0.10	0.40	0.50	0.13	0.10	0.03	0.03	0.03					1.33
性器ヘルペスウイルス感染症(男)						0.03		0.10		0.10			0.03			0.03	0.30
性器ヘルペスウイルス感染症(女)					0.03	0.07		0.17		0.03	0.03	0.03				0.03	0.40
尖圭コンジローマ(男)											0.03						0.03
尖圭コンジローマ(女)						0.10		0.03				0.03					0.17
淋菌感染症(男)						0.03	0.03	0.07	0.10	0.07	0.03	0.10		0.07			0.50
淋菌感染症(女)					0.07	0.07	0.10	0.03	0.03			0.03					0.33
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症				0.10					0.10		0.10	0.20			0.10	1.70	2.30
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

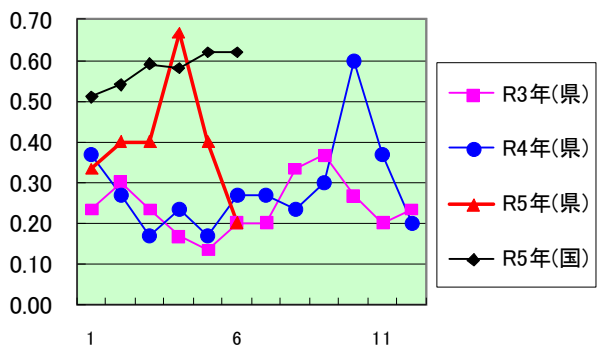
性器クラミジア感染症



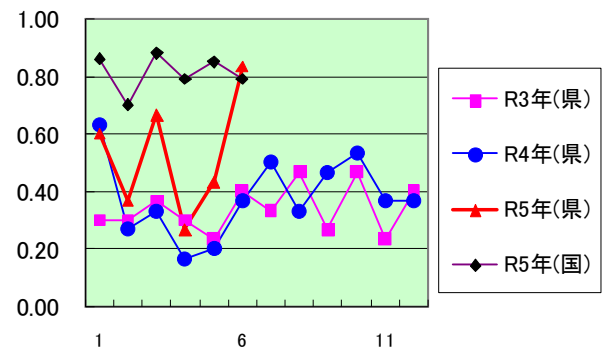
性器ヘルペスウイルス感染症



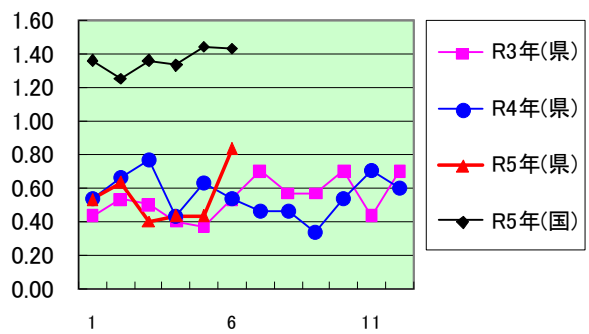
尖圭コンジローマ



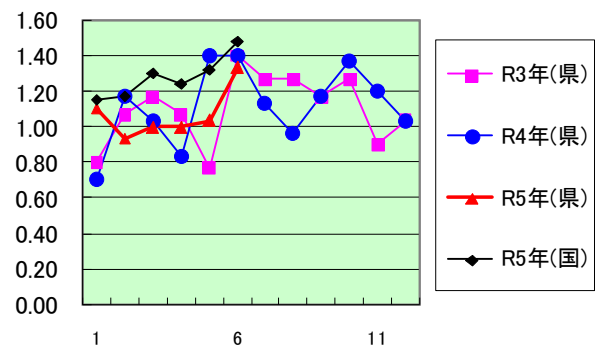
淋菌感染症



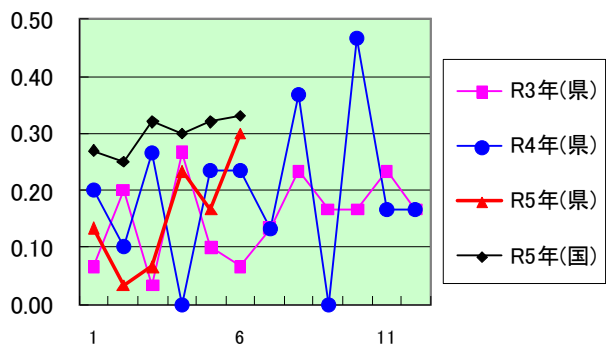
性器クラミジア感染症(男)



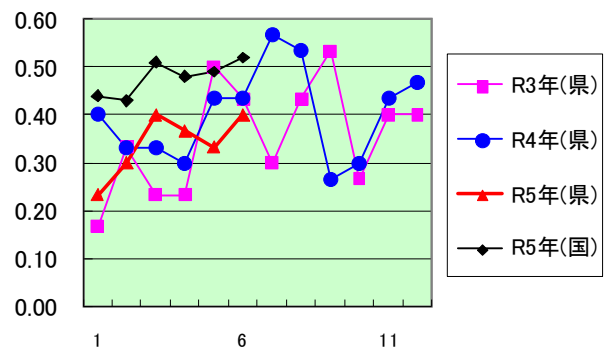
性器クラミジア感染症(女)



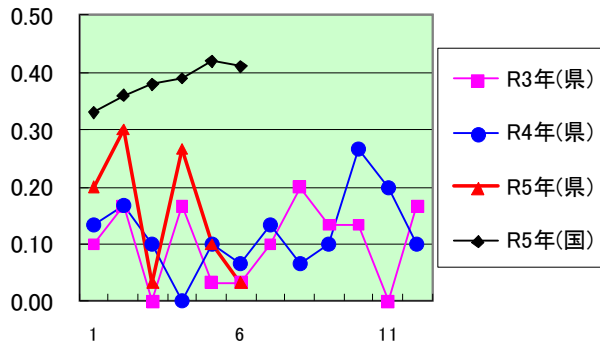
性器ヘルペスウイルス感染症(男)



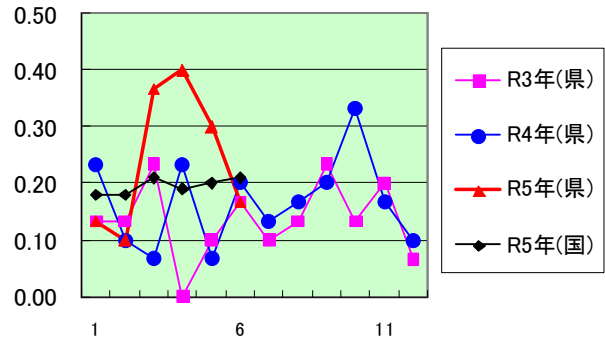
性器ヘルペスウイルス感染症(女)



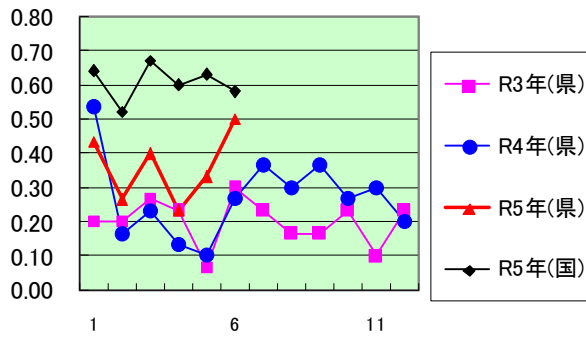
尖圭コンジローマ(男)



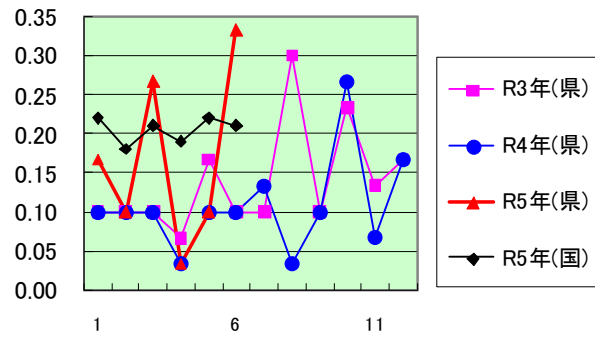
尖圭コンジローマ(女)



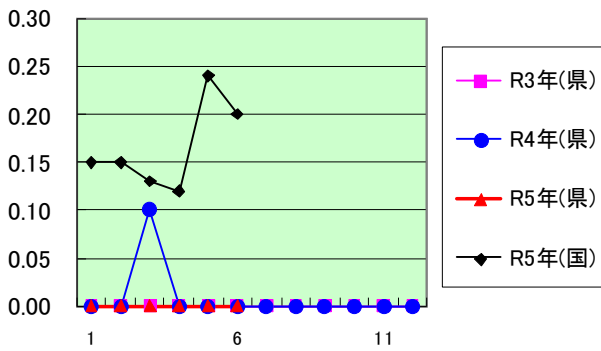
淋菌感染症(男)



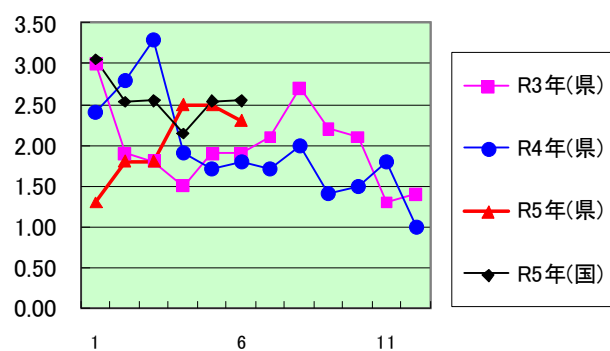
淋菌感染症(女)



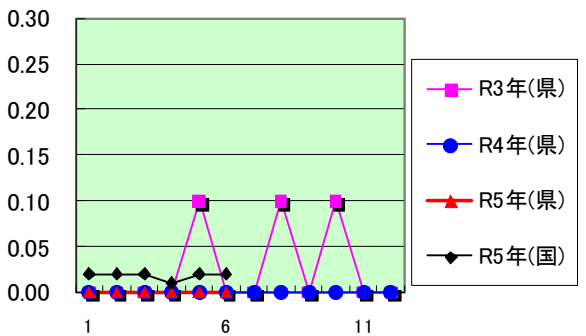
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

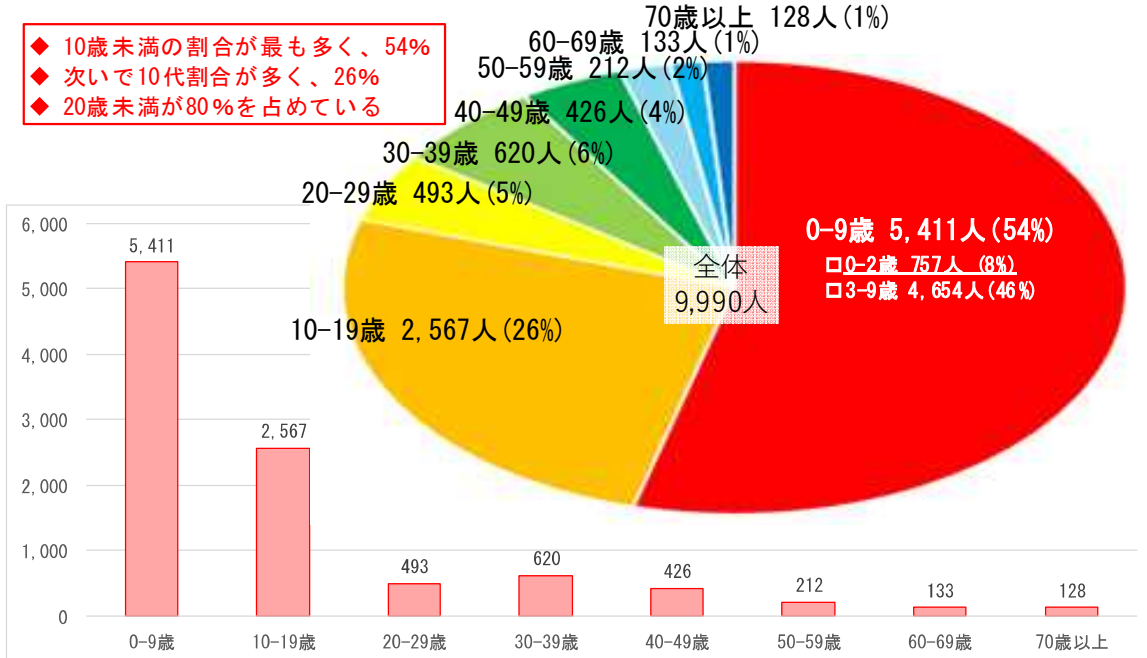


薬剤耐性緑膿菌感染症

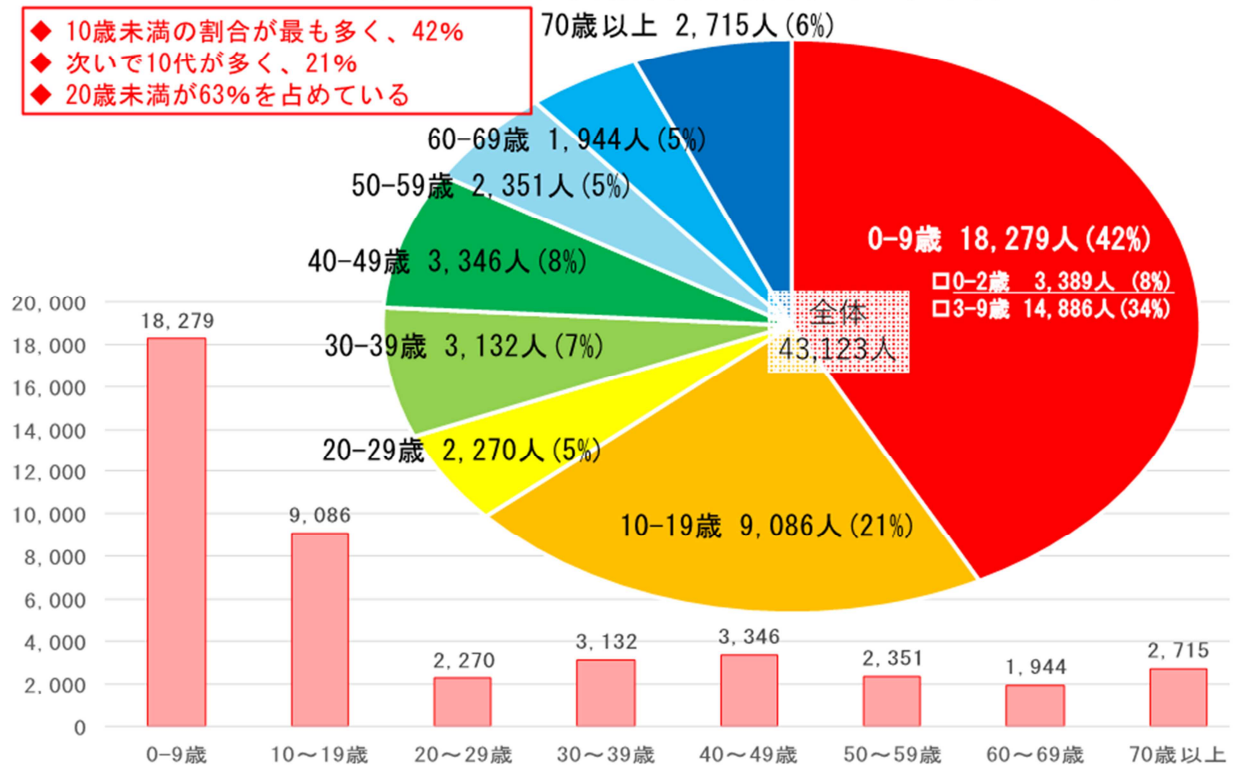


定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

**静岡県の2022-2023シーズン
インフルエンザ年齢別の累積報告数・割合**
2022年第51週～2023年第24週(12/19-6/18) (政令市含む全県)

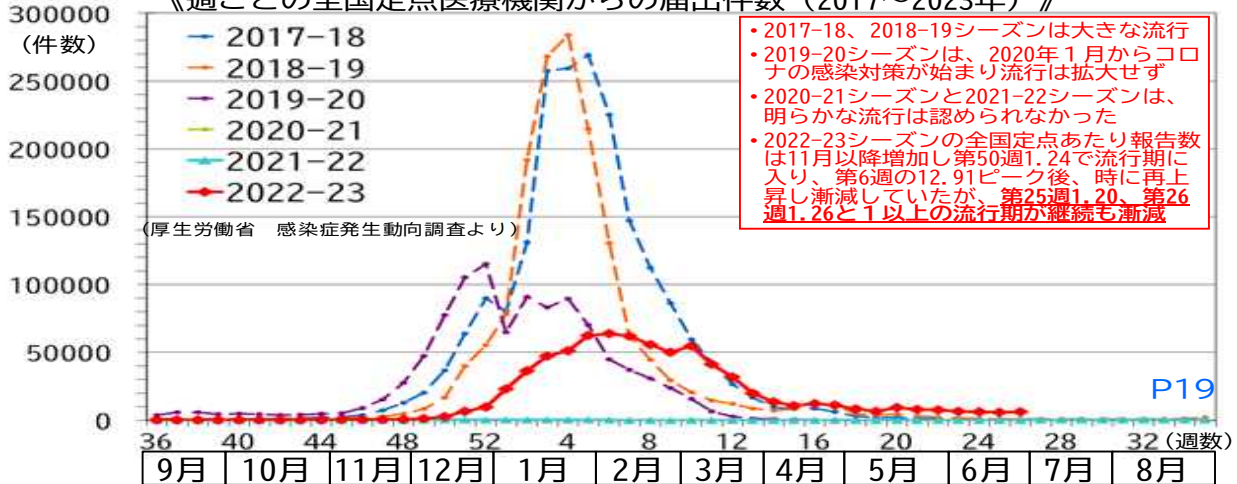


**前回、例年並の流行が見られた静岡県の2018-19シーズンの
インフルエンザ年齢別の累積報告数・割合 (政令市含む全県)**



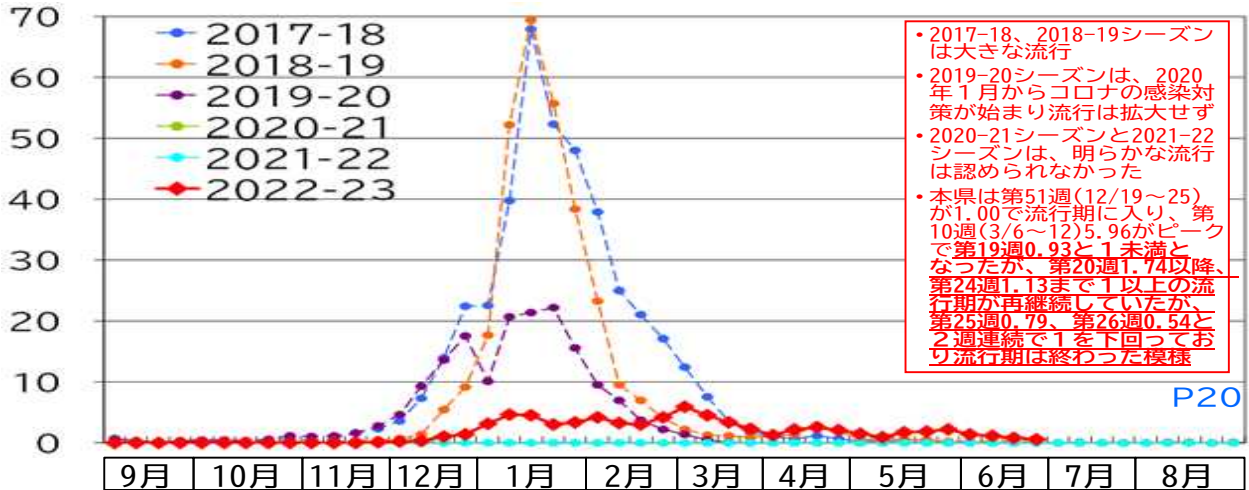
全国 今季のインフルエンザ流行状況 (6/26~7/2 第26週時点)

《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数 (2017~2023年)》



- 2017-18、2018-19シーズンは大きな流行
- 2019-20シーズンは、2020年1月からコロナの感染対策が始まり流行は拡大せず
- 2020-21シーズンと2021-22シーズンは、明らかな流行は認められなかった
- 2022-23シーズンの全国定点あたり報告数は11月以降増加し第50週1.24で流行期に入り、第6週の12.91ピーク後、時に再上昇し漸減していたが、第25週1.20、第26週1.26と1以上の流行期が継続も漸減

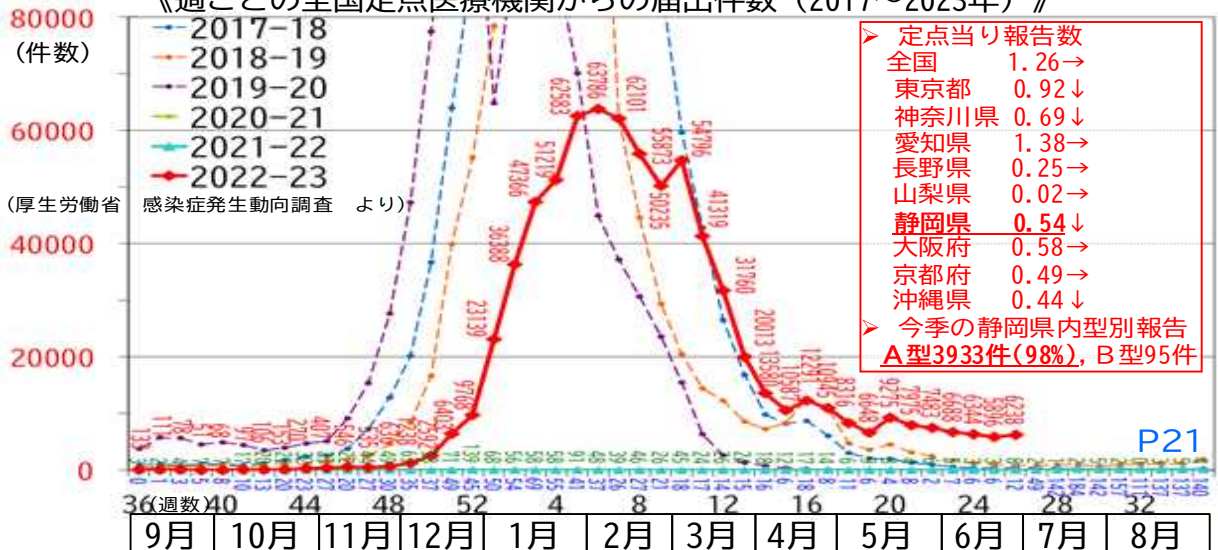
静岡県 インフルエンザ 定点医療機関あたりの報告数 (2017-18~22-23)



- 2017-18、2018-19シーズンは大きな流行
- 2019-20シーズンは、2020年1月からコロナの感染対策が始まり流行は拡大せず
- 2020-21シーズンと2021-22シーズンは、明らかな流行は認められなかった
- 本県は第51週(12/19~25)が1.00で流行期に入り、第10週(3/6~12)5.96がピークで第19週0.93と1未満となったが、第20週1.74以降、第24週1.13まで1以上の流行期が再継続していたが、第25週0.79、第26週0.54と2週連続で1を下回っており流行期は終わった模様

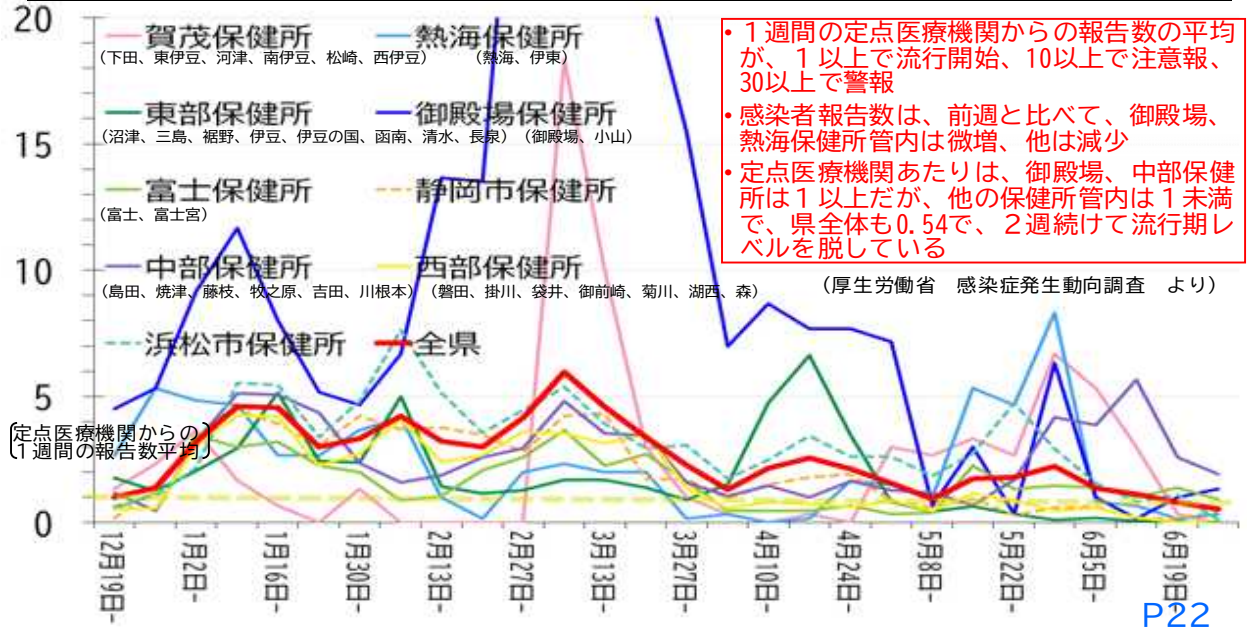
全国 今季のインフルエンザ流行状況 (6/26~7/2 第26週時点) 【拡大】

《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数 (2017~2023年)》

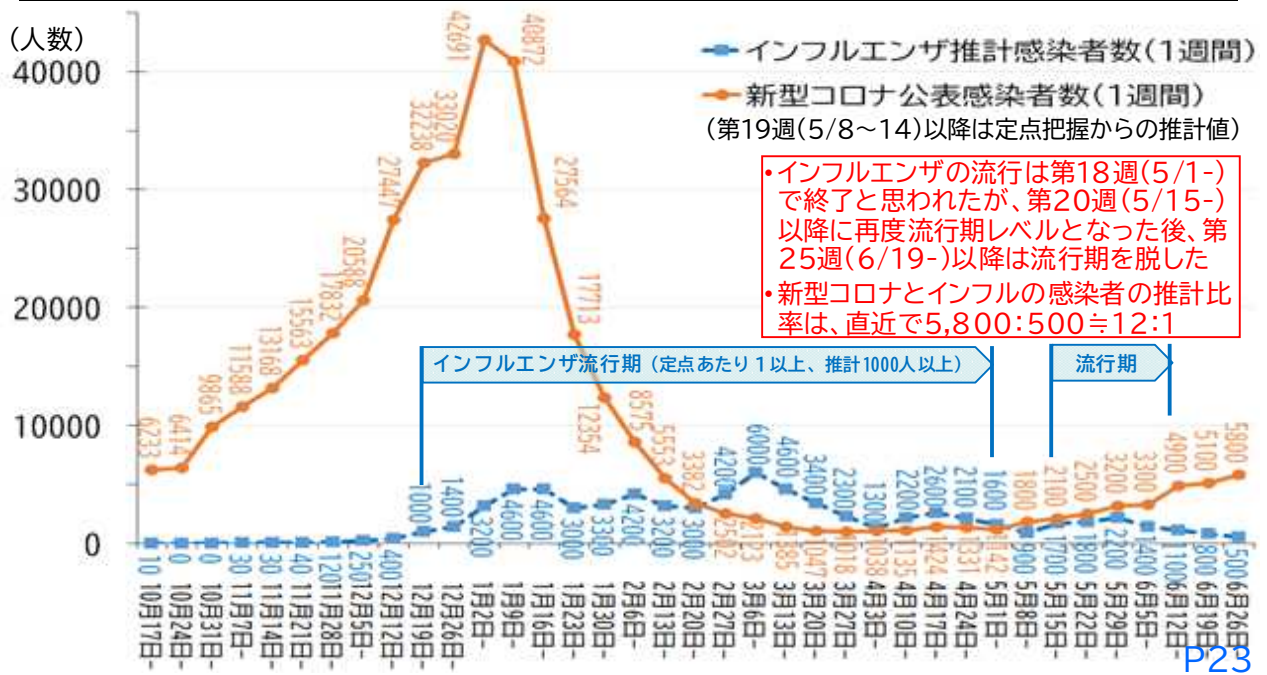


- 定点对当り報告数
- 全国 1.26↓
- 東京都 0.92↓
- 神奈川県 0.69↓
- 愛知県 1.38→
- 長野県 0.25→
- 山梨県 0.02→
- 静岡県 0.54↓
- 大阪府 0.58→
- 京都府 0.49→
- 沖縄県 0.44↓
- 今季の静岡県内型別報告
- A型3933件(98%), B型95件

静岡県の保健所管内別 1週間のインフルエンザ感染者 定点医療機関からの報告数 (2022. 11/7~2023. 7/2)



静岡県 新型コロナとインフルエンザの同時流行の状況 (2022. 10/17~2023. 7/2)



提供日 2023/07/24
タイトル マダニに咬まれないよう注意しましょう！（「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」患者が発生しました）
担当 健康福祉部 感染症対策局感染症対策課
連絡先 ふじのくに感染症管理センター
TEL 055-928-7272



—危機管理情報—
マダニに咬まれないように注意しましょう！
～県内13例目、今年3例目の「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」患者が確認されました～

1 要旨

熱海保健所管内在住の80歳代男性が、7月14日から発熱、下痢、筋肉痛、倦怠感等の症状を呈し、7月16日に熱海保健所管内の医療機関に入院しました。7月20日に検体（血清）を採取し、県環境衛生科学研究所で検査を行ったところ、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の病原体遺伝子が検出され、SFTSであることが確認されました。

なお、患者は現在も入院中ですが、快方に向かっています。

県内でSFTSの患者が確認されたのは、今年に入ってから3例目です。春から秋にかけてマダニの活動が盛んになる時期です。レジャーや農作業などで野山や草むら、畑などに入るとマダニに咬まれることがあります。**マダニが病原体を保有していると、咬まれた人が「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」「日本紅斑熱」、などの感染症にかかる危険性があります。**これらの疾患にかからないようにするために、野外でのダニ対策が重要です。

特に、マダニの活動が活発な5月頃から11月頃までの時期は、野山や畑等の屋外でマダニに咬まれないよう十分注意しましょう。また、屋外を出入りする犬や猫等に付着したマダニに屋内で咬まれないよう注意しましょう。

※ 報道機関各位におかれましては、患者及び患者家族等について、本人等が特定されることのないよう、格別の御配慮をお願いします。

2 マダニが媒介する主な感染症

（1）重症熱性血小板減少症候群（SFTS）

- ・感染経路は、SFTSウイルスを保有するマダニに咬まれることが中心ですが、血液等の患者体液との接触や、マダニに咬まれSFTSウイルスに感染している犬や猫の体液から感染することも報告されています。
- ・マダニに咬まれてから、6日から14日の潜伏期間の後、発熱、消化器症状などが現れ、重症化した場合には死に至ることもあります。
- ・県内では令和3年から年間4～6例、3年間で計13例発生しており、本年は今回報告例を含めて3例が報告されています。

(2) 日本紅斑熱

- ・日本紅斑熱リケッチアという病原体を保有するマダニに咬まれることで感染し、人から人へ感染して広がるものではありません。
- ・マダニに咬まれてから、2日から8日の潜伏期間の後、高熱、発疹が現れ、重症化した場合には、死に至ることもあります。
- ・県内では、平成30年からの最近5年間で、年間3～10例、計37例発生しており、本年は3例が報告されています。

3 県民の皆様へ

(1)マダニに咬まれないようにしましょう！

- ・特にマダニの活動が盛んな、春から秋にかけて注意が必要です。
- ・野山や草むら、畑などに入る場合は、耳を覆う帽子、首に巻くタオル、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、肌の露出を少なくしてください。
- ・マダニ用に市販されている忌避剤はありますが、マダニの付着を完全に防ぐことはできませんので、他の防護手段と組み合わせて対策を取りましょう。

(2)屋外活動後は、マダニに咬まれていないか確認しましょう！

- ・マダニに咬まれた場合は、数日間、体調の変化に注意しましょう。
- ・発熱・発疹の症状が見られたら、早めに医療機関を受診し、マダニに咬まれた可能性があることを医師に伝えましょう。

(3)ペットに付着して、マダニが家の中に入ってくることもあります！

- ・飼育している犬や猫にもダニ駆除剤を使用しましょう。
- ・飼育している動物の健康状態の変化に注意し、動物が体調不良の際には、咬まれたりなめられたりしないようにして、動物病院を受診して下さい。

4 SFTSの過去5年間患者数(人) 令和5年全国は現時点の暫定

年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全国	77	101	78	110	118	90
静岡県	0	0	0	4	6	3

5 日本紅斑熱の過去5年間患者数(人) 令和5年全国は現時点の暫定

年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全国	305	318	421	487	460	169
静岡県	3	10	8	8	5	3

新型コロナウイルス感染症について

令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症は感染症法上の位置付けが「5類感染症」となりました。

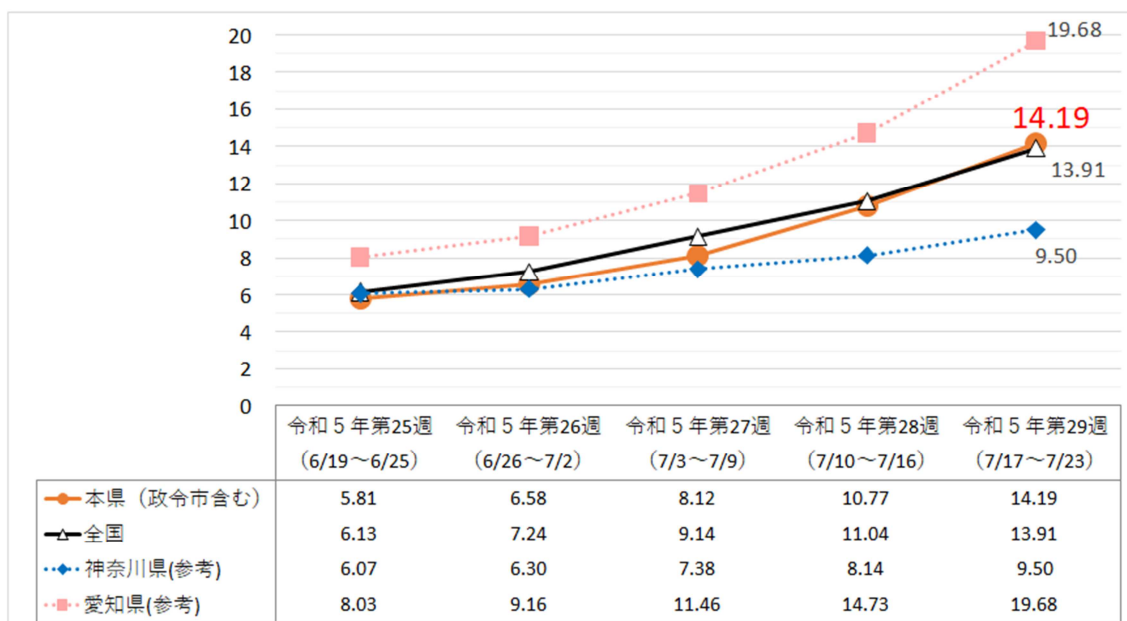
このため、感染状況の把握は、全数を毎日把握する方式ではなく、国が定める基準に従って指定された医療機関（定点医療機関）での患者数を1週間分まとめて把握する方式に変更されています。（季節性インフルエンザと同様の把握方法）

令和5年第29週（令和5年7月17日～7月23日）

★令和5年第29週の感染状況について

- ・県全体の定点医療機関当たり患者数は14.19人/週で、前週(10.77人/週)に比べて増加しており、**感染拡大注意報レベル**となっています。
- ・この1週間の定点医療機関から報告された感染者数は1,973人で、前週(1,497人)に比べて1.32倍です。
- ・この1週間の全感染者数は、約12,500人(1日平均約1,800人)と推計されます。
- ・東・中・西の地域別では、すべての地域が感染拡大注意報レベルとなっています。保健所管内別では、**静岡市、中部保健所管内が感染拡大警報レベル**、賀茂、熱海、東部、御殿場、富士、西部、浜松市保健所管内が感染拡大注意報レベルとなっています。

1 定点医療機関当たり患者数（単位：人/週）



全国及び隣接する神奈川県、愛知県も表示します。

2 定点医療機関当たり患者数【保健所別】＜令和5年第29週＞

保健所ごとに定点医療機関1か所当たりの人口や年齢構成などが異なるため、保健所間で数値の単純比較はできません。

保健所名	各保健所の管轄市町名	定点医療機関数 (A)	定点医療機関の感染者数 (B)	定点医療機関当たりの感染者数 (B/A)	県独自の注意報レベル※	県独自の警報レベル※	
県東部地域	賀茂	下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町	3	48	16.00	13以上	26以上
	熱海	熱海市、伊東市	6	104	17.33	9以上	18以上
	東部	沼津市、三島市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町	20	232	11.60	8以上	16以上
	御殿場	御殿場市、小山町	6	184	30.67	17以上	34以上
	富士	富士市、富士宮市	15	254	16.93	11以上	22以上
県東部地域		50	822	16.44	10以上	20以上	
県中部地域	静岡市	静岡市	25	308	12.32	6以上	12以上
	中部	島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町	17	273	16.06	8以上	16以上
県中部地域		42	581	13.83	7以上	14以上	
県西部地域	西部	磐田市、掛川市、袋井市、御前崎市、菊川市、湖西市、森町	19	294	15.47	10以上	20以上
	浜松市	浜松市	28	276	9.86	7以上	14以上
県西部地域		47	570	12.13	8以上	16以上	
県全体		139	1973	14.19	8以上	16以上	

※県独自の注意報レベル：令和4年10月以降の第8波の新規感染者数の推移から、1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり200人以上となった水準を、暫定的に県独自の注意報レベルとして設定しています。（例えば、賀茂保健所の定点医療機関当たり患者数は13以上で注意報レベルということになります）

※県独自の警報レベル：1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり400人以上となった水準を、暫定的に県独自の警報レベルとして設定しています。

3 定点医療機関当たり患者数【保健所別】＜5週間の推移＞

保健所名	第25週 (6/19~6/25)	第26週 (6/26~7/2)	第27週 (7/3~7/9)	第28週 (7/10~7/16)	第29週 (7/17~7/23)	前週比推移	
県東部地域	賀茂	7.00	10.33	18.00	5.67	16.00	↗ ↗ ↘ ↗
	熱海	15.00	11.17	11.50	14.67	17.33	↘ ↗ ↗ ↗
	東部	5.65	6.85	7.80	10.10	11.60	↗ ↗ ↗ ↗
	御殿場	19.83	22.67	24.33	33.67	30.67	↗ ↗ ↗ ↘
	富士	8.20	10.27	9.93	15.00	16.93	↗ ↘ ↗ ↗
県東部地域		9.32	10.50	11.48	14.68	16.44	↗ ↗ ↗ ↗
県中部地域	静岡市	4.68	4.88	7.08	8.48	12.32	↗ ↗ ↗ ↗
	中部	4.00	4.71	7.88	11.35	16.06	↗ ↗ ↗ ↗
県中部地域		4.40	4.81	7.40	9.64	13.83	↗ ↗ ↗ ↗
県西部地域	西部	4.05	5.11	6.95	10.95	15.47	↗ ↗ ↗ ↗
	浜松市	2.86	3.25	3.96	5.36	9.86	↗ ↗ ↗ ↗
県西部地域		3.34	4.00	5.17	7.62	12.13	↗ ↗ ↗ ↗
県全体		5.81	6.58	8.12	10.77	14.19	↗ ↗ ↗ ↗

4 感染拡大注意報・警報

注意報レベル：感染者が急増するおそれがある状況

警報レベル：感染者の増加が続き、医療のひっ迫のおそれがある状況

(1) 県全体の状況

県全体	
8	16
14.19	
注意報	

【凡例】

保健所名	
保健所管轄市町名	
注意報の 基準値	警報の 基準値
定点当たり患者数	
現在の状況	

(2) 地域別の状況

県東部地域		県中部地域		県西部地域	
10	20	7	14	8	16
16.44		13.83		12.13	
注意報		注意報		注意報	

(3) 保健所別の状況

賀茂保健所	熱海保健所	東部保健所	御殿場保健所	富士保健所	
下田市, 東伊豆町, 河津町, 南伊豆町, 松崎町, 西伊豆町	熱海市, 伊東市	沼津市, 三島市, 裾野市, 伊豆市, 伊豆の国市, 函南町, 清水町, 長泉町	御殿場市, 小山町	富士市, 富士宮市	
13	9	8	17	11	
26	18	16	34	22	
16.00		11.60		16.93	
注意報		注意報		注意報	
静岡市保健所	中部保健所	西部保健所	浜松市保健所		
静岡市	島田市, 焼津市, 藤枝市, 牧之原市, 吉田町, 川根本町	磐田市, 掛川市, 袋井市, 御前崎市, 菊川市, 湖西市, 森町	浜松市		
6	8	10	7		
12	16	20	14		
12.32		15.47		9.86	
警報		注意報		注意報	

<県民の皆様へ>

今後、感染者が急増する可能性がありますので、できるだけ、以下の点に御留意いただくようお願いいたします。

- ① 医療機関や高齢者施設の受診や訪問時は、できるだけマスクを着用
- ② 体調に少しでも違和感（特にのど・鼻）があれば、マスクを着用
- ③ 症状（咳・熱・のど痛）が出た時は、学校や仕事を休んで、帰省・旅行も延期し療養を
- ④ 人が集まる所では、十分な換気・できるだけマスク着用・手洗い励行
- ⑤ 高齢者や持病のある方は、ワクチン接種を検討

なお、熱中症予防の観点から、近くに人がいない屋外ではマスクは不要です。

5 感染者全数の推計値

保健所名		定点医療機関の 感染者数 (A)	管内の 定点割合 (B)※1	管内の感染者 全数の推計値 (A/B) ※2	
	賀茂	48	0.335	-	
	熱海	104	0.268	-	
	東部	232	0.150	-	
	御殿場	184	0.505	-	
	富士	254	0.215	-	
	県東部地域	822	0.221	3719	
		静岡市	308	0.109	-
		中部	273	0.154	-
		県中部地域	581	0.125	4648
		西部	294	0.166	-
		浜松市	276	0.117	-
		県西部地域	570	0.134	4254
	県全体	1973	0.158	12487	

※1 定点割合

令和4年10月3日から令和5年5月7日までに定点医療機関から報告のあった感染者数を、この期間の全感染者数で割った値。例えば県全体では、この期間の定点医療機関からの報告数は、全感染者数の15.8% (0.158) でした。

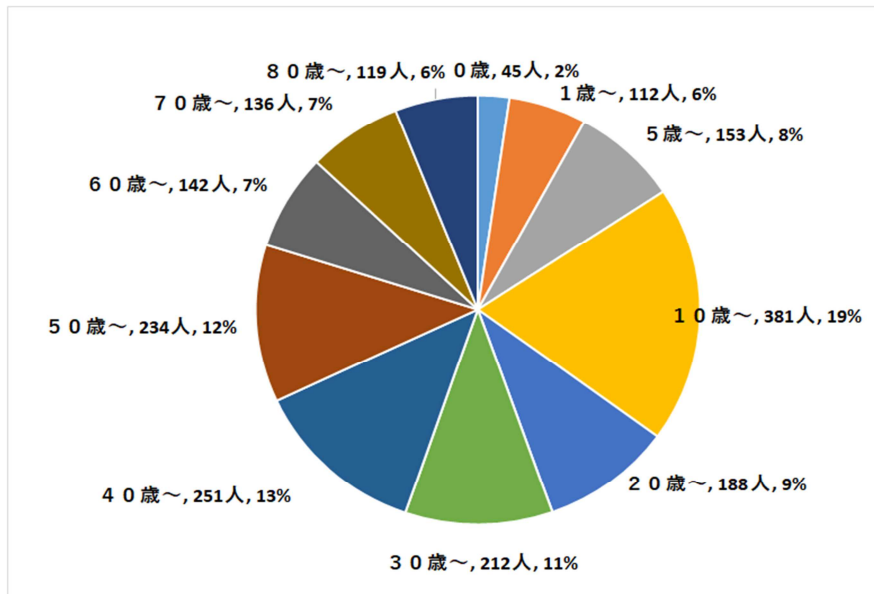
※2 推計値の算出方法

感染者全数の推計値は、定点医療機関の感染者数を定点割合で除して算出しており (A÷B)、県全体の感染者数の全数は、 $1973 \div 0.158 = 12487$ 人と推計されます。各地域ごとに異なる定点割合で推計値を算出しているため、県東部地域、県中部地域、県西部地域の推計値の総和は必ずしも県全体の推計値と同じ値にはなりません。なお、人口が少ない地域は定点医療機関が少なく、算出される推計値は統計的に信頼性が低くなるため、各保健所ごとの推計値は示していません。

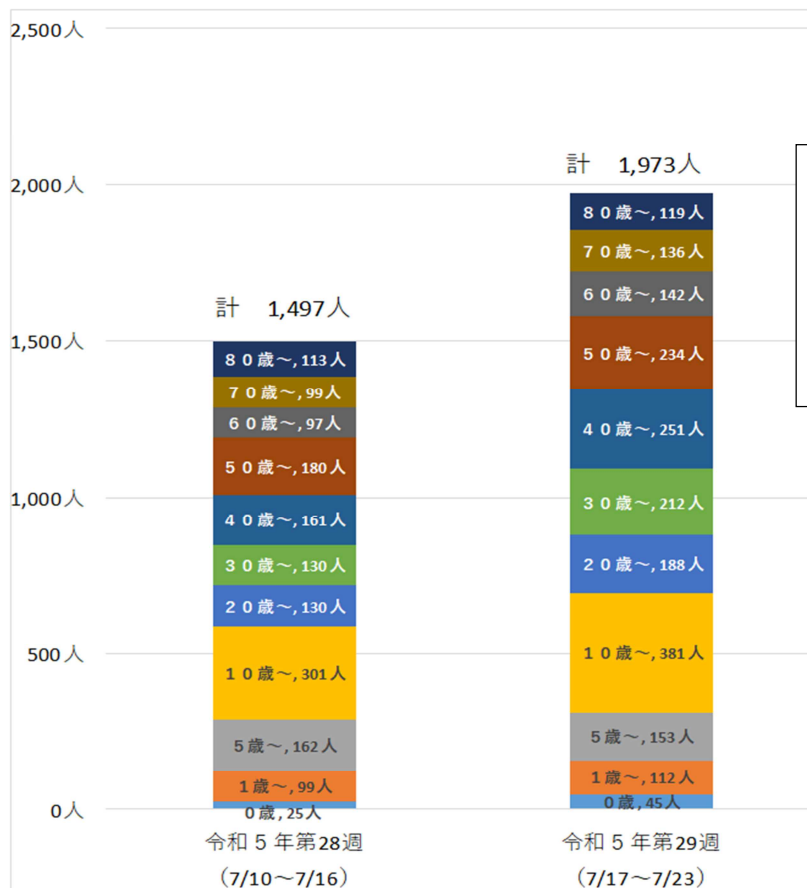
6 定点医療機関の年齢階級別患者数

0歳	1歳～	5歳～	10歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～
45人	112人	153人	381人	188人	212人	251人	234人

60歳～	70歳～	80歳～	不明	合計
142人	136人	119人	0人	1,973人



70歳以上の割合は13%です。前週と比較して年代の比率に大きな変化はありません。



70歳以上の人数は、今週は255人、前週は212人です。

7 令和5年5月8日以降（令和5年春開始接種） 高齢者（65歳以上）の3～6回目接種の実績

集計期間	静岡県			(参考)全国
	接種者数	接種者数累計	接種率	接種率
令和5年第25週 (6/19～6/25)	51,562	411,445	37.33%	38.51%
令和5年第26週 (6/26～7/2)	47,643	459,088	41.65%	42.87%
令和5年第27週 (7/3～7/9)	37,215	496,303	45.02%	46.28%
令和5年第28週 (7/10～7/16)	23,934	520,237	47.19%	48.90%
令和5年第29週 (7/17～7/23)	17,742	537,979	48.80%	50.66%

接種対象者のうち、高齢者以外の基礎疾患のある者、医療従事者及び高齢者施設等従事者は、上表には含まれません。

<p>令和5年春開始接種の概要</p> <p>○接種時期 令和5年5月8日開始</p> <p>○接種対象者 2回以上の接種を完了し、以下に該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者(65歳以上)及び基礎疾患のある者(接種の努力義務あり) ・医療従事者及び高齢者施設等従事者(接種の努力義務なし) <p>○使用ワクチン 以下のいずれかを1回のみ接種可</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オミクロン株対応2価ワクチン(ファイザー社及びモデルナ社) 前回接種から3か月以上経過 ・武田社ワクチン(ノババックス) 前回接種から6か月以上経過
--

変異株に関する項目については、4月3日(月)分から当面の間、2週間ごとに集計しています。
(本日は、7月10日(月)～7月23日(日)分の集計)

8-1 変異株ゲノム解析結果について（政令市除く）

6月中旬～7月上旬に発症した方について、国立遺伝学研究所（三島市）において実施したゲノム解析の結果は、以下のとおりです。（県所管分）

（結果判明日：7月10日(月)及び7月18日(火)）

<変異株の件数>

保健所	賀茂	熱海	東部	御殿場	富士	中部	西部	合計
デルタ株	0	0	0	0	0	0	0	0
オミクロン株	0	5	5	0	0	0	2	12
	(内BA.2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	(内BA.5)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(内組換え体)	(0)	(5)	(5)	(0)	(0)	(0)	(2)	(12)

8-2 本県の変異株の判明状況（7月23日時点）

		合計	県	静岡市	浜松市
合計 (デルタ株+オミクロン株)	判明者数	9,955	5,633	2,283	2,039
	(前回からの増加数)	(12)	(12)	(0)	(0)
デルタ株 (R3.5.16~)	判明者数	2,411	1,256	648	507
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
オミクロン株 (R4.1.1~)	判明者数	7,544	4,377	1,635	1,532
	(前回からの増加数)	(12)	(12)	(0)	(0)
※オミクロン株 【内、BA.2】	判明者数	1,422	662	432	328
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
※オミクロン株 【内、BA.5】	判明者数	3,506	2,391	830	285
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
※オミクロン株 【内、組換体】	判明者数	142	83	23	36
	(前回からの増加数)	(12)	(12)	(0)	(0)

※県：国立遺伝学研究所および国立感染症研究所でゲノム解析を実施

静岡市：国立感染症研究所でゲノム解析を実施

浜松市：浜松市保健環境研究所でゲノム解析を実施

8-3 本県の変異株（オミクロン株）の判明状況（7月23日時点）

	オミクロン株判明数				全オミクロン株に占める割合		
	合計	内、BA.2	内、BA.5	内、組換体	BA.2	BA.5	組換体
4月17日(月)～ 4月30日(日)	7	0	2	5	0.0%	28.6%	71.4%
5月1日(月)～ 5月14日(日)	7	3	0	4	42.9%	0.0%	57.1%
5月15日(月)～ 5月28日(日)	21	1	4	16	4.8%	19.0%	76.2%
5月29日(月)～ 6月11日(日)	15	0	0	15	0.0%	0.0%	100.0%
6月12日(月)～ 6月25日(日)	14	1	4	9	7.1%	28.6%	64.3%
6月26日(月)～ 7月9日(日)	67	2	1	64	3.0%	1.5%	95.5%
7月10日(月)～ 7月23日(日)	12	0	0	12	0.0%	0.0%	100.0%

8-4 ゲノム解析結果の系統別判明数（政令市含む）

（7月10日～7月23日判明分）

系統名※	判明数	割合
BA. 2. 75	0	0. 0%
BS. 1	0	0. 0%
BA. 4. 6	0	0. 0%
BQ. 1	0	0. 0%
XBB	12	100. 0%
その他	0	0. 0%
計	12	100. 0%

※国立感染症研究所「感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の変異株について（第22報）」において、「引き続き国内外での動向の注視、知見の収集とともに、国内でのゲノムサーベイランスを継続していく必要がある」とされている系統を掲載しています。